

玉名市文化財調査報告 第24集

# 玉名市内遺跡調査報告書Ⅶ

平成21年度の調査

平成23年(2011)3月

玉名市教育委員会



玉名市文化財調査報告 第24集

# 玉名市内遺跡調査報告書Ⅶ

平成21年度の調査

平成23年(2011)3月

玉名市教育委員会





## ご 挨拶

玉名市は、旧石器時代から今日に至るまで長い歴史を持ち、豊富な文化財が所在する地域です。九州新幹線も開業し、県北部における政治経済・教育文化・観光の中心都市としてさらなる発展を遂げようとしています。

このような中で、玉名市教育委員会ではさまざまな開発事業との調整を図り、発掘調査等の円滑な遂行のため、専門職員の増員を図るなどの体制の充実に努めてまいりました。公共及び民間の様々な事業に対応するため、玉名市内に所在する文化財の状況把握にも常に取り組み、埋蔵文化財行政の改善・充実に努力しているところであります。また、その成果の公開・活用を通じて、広く教育・文化の発展に寄与できればと考えております。

本書は、主に平成21年度に実施した、各種開発に伴う試掘確認調査などの成果をまとめたものです。本書が市民の方々の埋蔵文化財に対する理解の一助となり、また、学術研究にも広くご活用いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、発掘調査、報告書作成にあたって各方面で多くの方々にご指導、ご協力を賜ったことに対しまして厚くお礼を申し上げます。

平成23年3月31日

玉名市教育委員会

教育長 森 義臣

## 例 言

1. 本書は、玉名市教育委員会が平成21年度に国・県の補助を受けて実施した、玉名市内遺跡の調査報告書である。
2. 調査は、玉名市教育委員会文化課兵谷有利、田中康雄、末永 崇、藪父雅史、荒木隆宏、古閑敏士、大倉千寿が担当した。
3. 本書掲載遺構及びトレンチ等の実測図は、各調査担当者が作成した。
4. 遺物の実測は、田中、古閑、大倉、嶋村ひとみが行い、製図は、早川イツエ、権藤 功が行った。
5. 調査時の写真撮影は、各調査担当者が行い、遺物写真撮影は田中、末永が行った。
6. 挿図に使用している座標は、玉名市役所税務課の地籍図等から転記した。座標値は世界測地系の第2座標系に基づいており、方位は特に記載がない限り座標北を示す。
7. 同一年度と同遺跡の調査を複数行っている場合には、アルファベットによる調査地点名を付している。
8. 調査地の地番については、原則として文化財保護法に基づく届出・通知の際の地番を表示している。いくつかの調査地点については、分筆等により、新たな地番が付されている場合がある。
9. トレンチの表記は本文中を除きTとした。
10. 出土遺物の整理作業は、田中が担当し、玉名市文化財整理室で行った。
11. 出土遺物は、玉名市文化財整理室で保管している。
12. 本書の執筆は、各担当者が調査後に作成した報文をもとに田中が校正・補足した。編集は田中が担当した。

## 本文目次

ご挨拶

例言

本文目次

挿図目次

写真目次

### I 調査の概要

- |   |       |   |
|---|-------|---|
| 1 | 調査の体制 | 1 |
| 2 | 調査の方法 | 1 |
| 3 | 調査総括  | 1 |
| 4 | 活用    | 2 |

### II 試掘・確認調査等

- |    |             |     |
|----|-------------|-----|
| 1  | 市道立願寺横町線予定地 | 7   |
| 2  | 開野内原遺跡A地点   | 12  |
| 3  | 年の神遺跡       | 17  |
| 4  | 市道境川山田線予定地  | 29  |
| 5  | 開野内原遺跡B地点   | 38  |
| 6  | 新町遺跡        | 40  |
| 7  | 上小田宮の前遺跡    | 41  |
| 8  | 市道岱明玉名線予定地  | 42  |
| 9  | 岩崎原遺跡A地点    | 87  |
| 10 | 築地池下遺跡      | 90  |
| 11 | 塚原遺跡        | 91  |
| 12 | 岩崎原遺跡B地点    | 116 |
| 13 | 末広開堤防跡隣接地   | 118 |
| 14 | 鬼除山千人塚      | 121 |
| 15 | 松尾遺跡        | 123 |
| 16 | 宮原土井の内遺跡    | 124 |

### III 測量調査

- |   |            |     |
|---|------------|-----|
| 1 | 市道溝上3号線予定地 | 137 |
| 2 | 明人林均吾墓     | 139 |

### IV 発掘調査

- |   |         |     |
|---|---------|-----|
| 1 | 富尾原横穴墓群 | 145 |
|---|---------|-----|

## 挿図目次

- |      |                    |    |
|------|--------------------|----|
| 第1図  | 平成21年度調査地位位置図      | 3  |
| 第2図  | 市道立願寺横町線予定地位位置図    | 7  |
| 第3図  | 市道立願寺横町線予定地トレンチ配置図 | 8  |
| 第4図  | 市道立願寺横町線予定地上層図     | 9  |
| 第5図  | 開野内原遺跡A地点位置図       | 12 |
| 第6図  | 開野内原遺跡A地点トレンチ配置図   | 12 |
| 第7図  | 開野内原遺跡A地点土層図       | 13 |
| 第8図  | 開野内原遺跡A地点④⑤平面図     | 13 |
| 第9図  | 開野内原遺跡A地点出土遺物実測図   | 14 |
| 第10図 | 年の神遺跡工事立会地位位置図     | 17 |
| 第11図 | 年の神遺跡工事立会地範囲図      | 17 |
| 第12図 | 年の神遺跡出土遺物実測図1      | 18 |
| 第13図 | 年の神遺跡出土遺物実測図2      | 19 |
| 第14図 | 年の神遺跡出土遺物実測図3      | 20 |
| 第15図 | 年の神遺跡出土遺物実測図4      | 21 |
| 第16図 | 年の神遺跡出土遺物実測図5      | 22 |
| 第17図 | 年の神遺跡出土遺物実測図6      | 23 |
| 第18図 | 年の神遺跡出土遺物実測図7      | 24 |
| 第19図 | 年の神遺跡出土遺物実測図8      | 25 |
| 第20図 | 市道境川山田線予定地位位置図     | 29 |
| 第21図 | 市道境川山田線トレンチ配置図     | 30 |
| 第22図 | 市道境川山田線予定地土層図1     | 31 |
| 第23図 | 市道境川山田線予定地土層図2     | 32 |
| 第24図 | 市道境川山田線予定地土層図3     | 33 |
| 第25図 | 市道境川山田線予定地土層図4     | 34 |
| 第26図 | 市道境川山田線予定地出土遺物実測図1 | 34 |
| 第27図 | 市道境川山田線予定地出土遺物実測図2 | 35 |
| 第28図 | 開野内原遺跡B地点位置図       | 38 |
| 第29図 | 開野内原遺跡B地点トレンチ配置図   | 38 |
| 第30図 | 開野内原遺跡B地点土層図       | 39 |

第31図	開野内原遺跡B地点出土遺物 実測図	39	第52図	市道岱明玉名線予定地31・32T 平面図・土層図	55
第32図	新町遺跡調査地位置図	40	第53図	市道岱明玉名線予定地34T平面図・ 土層図	56
第33図	新町遺跡トレンチ配置図	40	第54図	市道岱明玉名線予定地35・36T 平面図・土層図	57
第34図	新町遺跡土層図	40	第55図	市道岱明玉名線予定地37・38・39T 平面図・土層図	58
第35図	上小田宮の前遺跡調査地位置図	41	第56図	市道岱明玉名線予定地40・41・42・ 43平面図・土層図	59
第36図	ヒ小田宮の前遺跡トレンチ 配置図	41	第57図	市道岱明玉名線予定地44・45・46T 平面図・土層図	60
第37図	上小田宮の前遺跡土層図	41	第58図	市道岱明玉名線予定地3T出土遺物 実測図1	60
第38図	市道岱明玉名線予定地位置図	42	第59図	市道岱明玉名線予定地3T出土遺物 実測図2	61
第39図	市道岱明玉名線予定地トレンチ 配置図1	43	第60図	市道岱明玉名線予定地4T出土遺物 実測図1	61
第40図	市道岱明玉名線予定地トレンチ 配置図2	44	第61図	市道岱明玉名線予定地4T出土遺物 実測図2	62
第41図	市道岱明玉名線予定地3・4T平面図・ 土層図	45	第62図	市道岱明玉名線予定地5T出土遺物 実測図	63
第42図	市道岱明玉名線予定地5・6T平面図・ 土層図	46	第63図	市道岱明玉名線予定地6T出土遺物 実測図	64
第43図	市道岱明玉名線予定地7・8T平面図・ 土層図	47	第64図	市道岱明玉名線予定地7T出土遺物 実測図1	65
第44図	市道岱明玉名線予定地9T平面図・ 土層図	48	第65図	市道岱明玉名線予定地7T出土遺物 実測図2	66
第45図	市道岱明玉名線予定地14T平面図・ 土層図	48	第66図	市道岱明玉名線予定地7T出土遺物 実測図3	67
第46図	市道岱明玉名線予定地15・16・17T 平面図・土層図	49	第67図	市道岱明玉名線予定地7T出土遺物 実測図4	68
第47図	市道岱明玉名線予定地18・19T 平面図・土層図	50	第68図	市道岱明玉名線予定地14T出土遺物 実測図	69
第48図	市道岱明玉名線予定地20・21T 平面図・土層図	51	第69図	市道岱明玉名線予定地19T出土遺物 実測図	69
第49図	市道岱明玉名線予定地22・23・24・ 25T平面図・土層図	52			
第50図	市道岱明玉名線予定地26・27・28T 平面図・土層図	53			
第51図	市道岱明玉名線予定地29・30T 平面図・土層図	54			

第70図	市道岱明玉名線予定地20T出土遺物 実測図	70	第96図	塚原遺跡S-02出土遺物 実測図2	98
第71図	市道岱明玉名線予定地21T出土遺物 実測図	70	第97図	塚原遺跡S-03出土遺物実測図	98
第72図	市道岱明玉名線予定地26T出土遺物 実測図	71	第98図	塚原遺跡S-04出土遺物 実測図1	98
第73図	市道岱明玉名線予定地30T出土遺物 実測図	71	第99図	塚原遺跡S-04出土遺物 実測図2	99
第74図	市道岱明玉名線予定地31・32・35・ 36T出土遺物実測図	72	第100図	塚原遺跡P2出土遺物実測図	99
第75図	市道岱明玉名線予定地39・41・42T 出土遺物実測図	73	第101図	塚原遺跡P8出土遺物実測図	100
第76図	岩崎原遺跡A地点位置図	87	第102図	塚原遺跡P9出土遺物実測図1	100
第77図	岩崎原遺跡A地点トレンチ 配置図	87	第103図	塚原遺跡P9出土遺物実測図2	101
第78図	岩崎原遺跡A地点1T平面図	88	第104図	塚原遺跡P19出土遺物実測図	101
第79図	岩崎原遺跡A地点土層図1	88	第105図	塚原遺跡P22出土遺物実測図	102
第80図	岩崎原遺跡A地点土層図2	89	第106図	塚原遺跡P28出土遺物実測図	102
第81図	岩崎原遺跡A地点出土遺物 実測図	89	第107図	塚原遺跡P49出土遺物実測図	102
第82図	築地池下遺跡位置図	90	第108図	塚原遺跡P60出土遺物実測図	102
第83図	築地池下遺跡トレンチ配置図	90	第109図	塚原遺跡P61・62出土遺物 実測図	102
第84図	塚原遺跡位置図	91	第110図	塚原遺跡P63出土遺物実測図	103
第85図	塚原遺跡1・2T平面図・土層図	91	第111図	塚原遺跡P67・75出土遺物 実測図	103
第86図	塚原遺跡調査地全体図	92	第112図	塚原遺跡包含層出土遺物 実測図	104
第87図	塚原遺跡工事立会範囲遺構 配置図	93	第113図	塚原遺跡2T出土遺物実測図	104
第88図	塚原遺跡工事立会範囲土層図	94	第114図	岩崎原遺跡B地点位置図	116
第89図	塚原遺跡S-01実測図	95	第115図	岩崎原遺跡B地点トレンチ 配置図	116
第90図	塚原遺跡S-02実測図	95	第116図	岩崎原遺跡B地点土層図	116
第91図	塚原遺跡S-03・05実測図	95	第117図	未広開堤防隣接地位置図	118
第92図	塚原遺跡S-04実測図	96	第118図	未広開堤防隣接地トレンチ 配置図	119
第93図	塚原遺跡ビット土層図	96	第119図	未広開堤防隣接地土層図	120
第94図	塚原遺跡S-01出土遺物実測図	97	第120図	鬼除山千人塚位置図	121
第95図	塚原遺跡S-02出土遺物 実測図1	97	第121図	鬼除山千人塚トレンチ配置図	121
			第122図	鬼除山千人塚1・2T平面図・ 土層図	122
			第123図	松尾遺跡位置図	123

第124図	松尾遺跡トレンチ配置図	123
第125図	松尾遺跡土層図	123
第126図	宮原土井の内遺跡位置図	124
第127図	宮原土井の内遺跡トレンチ配置図	124
第128図	宮原土井の内遺跡1T平面図・土層図	125
第129図	宮原土井の内遺跡2・3T平面図・土層図	126
第130図	宮原土井の内遺跡出土遺物実測図1	127
第131図	宮原土井の内遺跡出土遺物実測図2	128
第132図	宮原土井の内遺跡出土遺物実測図3	129
第133図	宮原土井の内遺跡出土遺物実測図4	130
第134図	宮原土井の内遺跡出土遺物実測図5	131
第135図	宮原土井の内遺跡出土遺物実測図6	132
第136図	市道溝上3号線予定地位置図	137
第137図	市道溝上3号線予定地測量図	138
第138図	明人林均吾墓位置図	139
第139図	明人林均吾墓測量図	140
第140図	富尾原横穴墓群位置図及び周辺遺跡分布図	146
第141図	富尾原横穴墓群配置図	147
第142図	富尾原横穴墓群調査地測量図	148
第143図	A-A'立面図(閉塞石除去前)	148
第144図	16号横穴墓平面図	149
第145図	B-B'立面図(中央→左側面)	150
第146図	B'-B立面図(中央→右側面)	151
第147図	16号横穴墓羨門部立面図(閉塞石除去後)	152
第148図	C-C'立面図(中央→奥屍床)	152
第149図	B-B'土層図	153

第150図	D-D'・E-E'土層図	154
第151図	16号横穴墓出土遺物実測図1	154
第152図	16号横穴墓出土遺物実測図2	155

## 写真目次

写真1	調査風景1	2
写真2	調査風景2	2
写真3	発掘速報展展示状況1	2
写真4	発掘速報展展示状況2	2
写真5	市道立願寺横町線予定地全景1	7
写真6	市道立願寺横町線予定地全景2	7
写真7	市道立願寺横町線予定地全景3	7
写真8	市道立願寺横町線1T土層断面	10
写真9	市道立願寺横町線2T土層断面	10
写真10	市道立願寺横町線3T土層断面	10
写真11	市道立願寺横町線4T土層断面	10
写真12	市道立願寺横町線5T土層断面	10
写真13	市道立願寺横町線6T土層断面	10
写真14	市道立願寺横町線7T土層断面	10
写真15	市道立願寺横町線8T土層断面	10
写真16	市道立願寺横町線9T土層断面	11
写真17	市道立願寺横町線10T土層断面	11
写真18	市道立願寺横町線11T北側土層断面	11
写真19	市道立願寺横町線11T南側土層断面	11
写真20	市道立願寺横町線出土遺物	11
写真21	開野内原遺跡A地点全景1	14
写真22	開野内原遺跡A地点全景2	14
写真23	開野内原遺跡A地点トレンチ東側全景	15
写真24	開野内原遺跡A地点①土層断面	15
写真25	開野内原遺跡A地点③土層断面1	15

写真26	開野内原遺跡A地点③ 土層断面	15	写真52	市道境川山田線予定地13T 土層断面	36
写真27	開野内原遺跡A地点④⑤ 土層断面	15	写真53	市道境川山田線予定地14T 土層断面	37
写真28	開野内原遺跡A地点⑦ 土層断面	15	写真54	市道境川山田線予定地15T 土層断面	37
写真29	開野内原遺跡A地点⑧ 土層断面	15	写真55	市道境川山田線予定地16T 土層断面	37
写真30	開野内原遺跡A地点遺物 出土状況	15	写真56	市道境川山田線予定地17T 土層断面	37
写真31	開野内原遺跡A地点出土遺物1	16	写真57	市道境川山田線予定地18T 土層断面	37
写真32	開野内原遺跡A地点出土遺物2	16	写真58	市道境川山田線予定地19T 土層断面	37
写真33	開野内原遺跡A地点出土遺物3	16	写真59	市道境川山田線予定地 出土遺物1	37
写真34	開野内原遺跡A地点出土遺物4	16	写真60	市道境川山田線予定地 出土遺物2	37
写真35	年の神遺跡調査地全景	17	写真61	開野内原遺跡B地点出土遺物1	39
写真36	年の神遺跡出土遺物1	26	写真62	開野内原遺跡B地点全景1	39
写真37	年の神遺跡出土遺物2	26	写真63	開野内原遺跡B地点全景2	39
写真38	年の神遺跡出土遺物3	27	写真64	開野内原遺跡B地点1T 土層断面	39
写真39	年の神遺跡出土遺物4	27	写真65	開野内原遺跡B地点3T 土層断面	39
写真40	年の神遺跡出土遺物5	28	写真66	新町遺跡調査地全景	40
写真41	年の神遺跡出土遺物6	28	写真67	新町遺跡トレンチ土層断面	40
写真42	市道境川山田線予定地全景1	35	写真68	上小田宮前遺跡調査地全景	41
写真43	市道境川山田線予定地全景2	35	写真69	市道岱明玉名線予定地全景 (1・2T)	73
写真44	市道境川山田線予定地2T全景	35	写真70	市道岱明玉名線予定地1T 土層断面	73
写真45	市道境川山田線予定地2T 土層断面	35	写真71	市道岱明玉名線予定地2T 土層断面	74
写真46	市道境川山田線予定地4T全景	36	写真72	市道岱明玉名線予定地全景 (3T)	74
写真47	市道境川山田線予定地4T 土層断面	36			
写真48	市道境川山田線予定地9T 土層断面	36			
写真49	市道境川山田線予定地10T 土層断面	36			
写真50	市道境川山田線予定地11T 土層断面	36			
写真51	市道境川山田線予定地12T 土層断面	36			

写真73	市道岱明玉名線予定地3T 土層断面 …………… 74	写真91	市道岱明玉名線予定地21T 土層断面 …………… 76
写真74	市道岱明玉名線予定地4・5T 土層断面 …………… 74	写真92	市道岱明玉名線予定地22T 土層断面 …………… 76
写真75	市道岱明玉名線予定地5T 遺構検出 …………… 74	写真93	市道岱明玉名線予定地23T 全景 …………… 76
写真76	市道岱明玉名線予定地6T 土層断面 …………… 74	写真94	市道岱明玉名線予定地24T 全景 …………… 76
写真77	市道岱明玉名線予定地全景 (7~11T) …………… 74	写真95	市道岱明玉名線予定地25T 土層断面 …………… 77
写真78	市道岱明玉名線予定地7~9T 土層断面 …………… 74	写真96	市道岱明玉名線予定地26T 土層断面 …………… 77
写真79	市道岱明玉名線予定地12T 土層断面 …………… 75	写真97	市道岱明玉名線予定地27T 土層断面 …………… 77
写真80	市道岱明玉名線予定地13T 土層断面 …………… 75	写真98	市道岱明玉名線予定地28T 土層断面 …………… 77
写真81	市道岱明玉名線予定地全景 (14~17T) …………… 75	写真99	市道岱明玉名線予定地29T 土層断面 …………… 77
写真82	市道岱明玉名線予定地14T 土層断面 …………… 75	写真100	市道岱明玉名線予定地31T 土層断面 …………… 77
写真83	市道岱明玉名線予定地15T 土層断面 …………… 75	写真101	市道岱明玉名線予定地32T 土層断面 …………… 77
写真84	市道岱明玉名線予定地16T 土層断面 …………… 75	写真102	市道岱明玉名線予定地34T 土層断面 …………… 77
写真85	市道岱明玉名線予定地17T 土層断面 …………… 75	写真103	市道岱明玉名線予定地35T 土層断面 …………… 78
写真86	市道岱明玉名線予定地全景 (18・19T) …………… 75	写真104	市道岱明玉名線予定地36T 土層断面 …………… 78
写真87	市道岱明玉名線予定地18T 土層断面 …………… 76	写真105	市道岱明玉名線予定地37T 土層断面 …………… 78
写真88	市道岱明玉名線予定地19T 土層断面 …………… 76	写真106	市道岱明玉名線予定地38T 土層断面 …………… 78
写真89	市道岱明玉名線予定地全景 (20~43T) …………… 76	写真107	市道岱明玉名線予定地39T 遺構検出 …………… 78
写真90	市道岱明玉名線予定地20T 土層断面 …………… 76	写真108	市道岱明玉名線予定地41T 土層断面 …………… 78



写真109	市道岱明玉名線予定地42T 遺構検出 .....	78	写真127	市道岱明玉名線予定地31T 出土遺物 .....	85
写真110	市道岱明玉名線予定地全景 (44T) .....	78	写真128	市道岱明玉名線予定地32T 出土遺物 .....	85
写真111	市道岱明玉名線予定地44T 全景 .....	79	写真129	市道岱明玉名線予定地35T 出土遺物 .....	86
写真112	市道岱明玉名線予定地44T 土層断面 .....	79	写真130	市道岱明玉名線予定地36T 出土遺物 .....	86
写真113	市道岱明玉名線予定地45T 土層断面 .....	79	写真131	市道岱明玉名線予定地39T 出土遺物 .....	86
写真114	市道岱明玉名線予定地46T 土層断面 .....	79	写真132	市道岱明玉名線予定地41T 出土遺物 .....	86
写真115	市道岱明玉名線予定地3T 出土遺物 .....	79	写真133	市道岱明玉名線予定地42T 出土遺物 .....	86
写真116	市道岱明玉名線予定地4T 出土遺物 .....	80	写真134	岩崎原遺跡A地点全景 .....	87
写真117	市道岱明玉名線予定地5T 出土遺物 .....	80	写真135	岩崎原遺跡A地点出土遺物 .....	89
写真118	市道岱明玉名線予定地6T 出土遺物 .....	81	写真136	築地池下遺跡調査地全景 .....	90
写真119	市道岱明玉名線予定地7T 出土遺物1 .....	81	写真137	塚原遺跡調査地全景 .....	91
写真120	市道岱明玉名線予定地 7T出土遺物2 .....	82	写真138	塚原遺跡工事立会部遺構 検出状況 .....	105
写真121	市道岱明玉名線予定地14T 出土遺物 .....	82	写真139	塚原遺跡工事立会部土層断面 (A—B) .....	105
写真122	市道岱明玉名線予定地19T 出土遺物 .....	83	写真140	塚原遺跡S-01完掘状況 .....	106
写真123	市道岱明玉名線予定地20T 出土遺物 .....	83	写真141	塚原遺跡S-02完掘状況 .....	106
写真124	市道岱明玉名線予定地21T 出土遺物 .....	84	写真142	塚原遺跡S-03完掘状況 .....	107
写真125	市道岱明玉名線予定地26T 出土遺物 .....	84	写真143	塚原遺跡S-04遺物出土状況 .....	107
写真126	市道岱明玉名線予定地30T 出土遺物 .....	85	写真144	塚原遺跡S-04完掘状況 .....	108
			写真145	塚原遺跡完掘状況(東→西) .....	108
			写真146	塚原遺跡完掘状況(西→東) .....	109
			写真147	塚原遺跡S-01出土遺物 .....	109
			写真148	塚原遺跡S-02出土遺物 .....	110
			写真149	塚原遺跡S-03出土遺物 .....	110
			写真150	塚原遺跡S-04出土遺物 .....	111
			写真151	塚原遺跡P2出土遺物 .....	111
			写真152	塚原遺跡P8出土遺物 .....	111
			写真153	塚原遺跡P9出土遺物 .....	112
			写真154	塚原遺跡P19出土遺物 .....	112

写真155	塚原遺跡P22出土遺物	113
写真156	塚原遺跡P28出土遺物	113
写真157	塚原遺跡P49出土遺物	113
写真158	塚原遺跡P60出土遺物	113
写真159	塚原遺跡P61出土遺物	113
写真160	塚原遺跡P62出土遺物	113
写真161	塚原遺跡P67出土遺物	113
写真162	塚原遺跡P75出土遺物	113
写真163	塚原遺跡P63出土遺物	114
写真164	塚原遺跡包含層出土遺物	114
写真165	塚原遺跡2T出土遺物	115
写真166	塚原遺跡1T土層断面	115
写真167	塚原遺跡2T土層断面	115
写真168	岩崎原遺跡B地点全景	117
写真169	岩崎原遺跡B地点1T土層断面	117
写真170	岩崎原遺跡B地点2T土層断面	117
写真171	未広開堤防跡隣接地全景	120
写真172	未広開堤防跡隣接地1T全景	120
写真173	未広開堤防跡隣接地1T石積 検出状況	120
写真174	未広開堤防跡隣接地2T 土層断面	120
写真175	未広開堤防跡隣接地3T全景	120
写真176	未広開堤防跡隣接地3T石積 検出状況	120
写真177	鬼除山千人塚全景	121
写真178	鬼除山千人塚1T土層断面	122
写真179	鬼除山千人塚1T石材検出状況	122
写真180	鬼除山千人塚2T全景	122
写真181	鬼除山千人塚2T土層断面	122
写真182	宮原土井の内遺跡全景 (北西→南東)	133
写真183	宮原土井の内遺跡全景 (南東→北西)	133
写真184	宮原土井の内遺跡1T全景	133
写真185	宮原土井の内遺跡2T全景	133
写真186	宮原土井の内遺跡出土遺物1	133

写真187	宮原土井の内遺跡出土遺物2	134
写真188	宮原土井の内遺跡出土遺物3	134
写真189	市道溝3号線予定地全景	137
写真190	明人林均吾墓墓碑	141
写真191	明人林均吾墓全景	141
写真192	明人林均吾墓正面	142
写真193	明人林均吾墓墓碑左上から	142
写真194	明人林均吾墓左側正面	142
写真195	明人林均吾墓右側正面	142
写真196	明人林均吾墓左側面	142
写真197	明人林均吾墓右側面	142
写真198	明人林均吾墓左手前	142
写真199	明人林均吾墓石材加工痕 (矢六)	142
写真200	富尾原横穴墓群16号横穴墓 全景	156
写真201	富尾原横穴墓群16号横穴墓 清掃後	156
写真202	16号横穴墓内出土遺物1	156
写真203	16号横穴墓内出土遺物2	157
写真204	16号横穴墓内出土遺物3	157

## 表 目 次

第1表	平成21年度市内遺跡調査一覧	4
第2表	出土遺物観察表(土器)	158
第3表	出土遺物観察表(石器)	173
第4表	出土遺物観察表(鉄製品)	173

# I 調査の概要

## 1 調査の体制

調査及び報告書の作成は、下記の体制により実施している。職員の所属等は、当時のものである。

平成21年度

調査主体 玉名市教育委員会  
調査責任 教育長 菊川茂男(11月27日まで)  
教育長職務代行者  
教育次長 前田敏朗  
(11月30日から3月29日まで)  
教育長 森 義臣(3月30日から)  
調査総括 教育次長 前田敏朗  
文化課長 中山富雄  
課長補佐 岩永次郎  
文化財係長 安田信孝  
庶務担当 主事 永野摩美子  
調査担当 参事 兵谷有利  
主任 田中康雄  
主任 末永 崇  
主任 荻父雅史  
主任 荒木隆宏  
調査員 古閑敬士  
調査員 大倉千寿

調査指導 池田明生、木村元浩、高木正文、  
西住欣一郎(敬称略)

調査協力者 城戸 敏、城戸ハルヨ

発掘作業員 尾崎延枝、片山昭義、古賀武子、  
権藤 功、徳田晴華、福田まき、  
馬田洋治、森 辰興

整理作業員 尾崎延枝、古賀武子、徳田晴華、  
福田まき

平成22年度(報告書作成)

調査主体 玉名市教育委員会  
調査責任 教育長 森 義臣  
調査総括 教育次長 前田敏朗

文化課長 赤木 隆  
文化財係長 安田信孝

庶務担当 主事 永野摩美子  
報告書担当 主任 田中康雄  
整理作業員 尾崎延枝、古賀武子、五野富美子、  
権藤 功、坂崎郷子、嶋村ひとみ、  
早川イツエ、福田まき

## 2 調査の方法

試掘確認調査については、重機掘削により幅0.7～1m程度のトレンチを設定しており、重機が使用不可能な場合や、包含層の一部、遺構については人力掘削を行っている。対象面積に対する掘削面積等については特に基準等定めていないが、開発の内容、予想される遺跡の内容、地形等を勘案して適宜設定している。

実測図は、1/20スケールを基本として、平面・断面図を作成している。トレンチの配置図等については、基本的に開発に伴う測量図及び字図等に記入する形をとっている。

写真は、通常35mmカラーネガを用いており、重要な遺構などが確認された場合は35mmモノクロ及びリバーサルフィルムによる撮影を行っている。

## 3 調査総括

玉名市では、平成11年度より、国・県の補助を受け、開発行為等に伴い各種調査を実施している。

平成21年度は、事前審査302件中、文化財保護法第93条による届出97件、94条による通知19件がなされ、うち試掘確認調査15件、測量調査2件を実施した。工事立会については、大半が専用住宅の合併浄化槽設置等に伴う小規模なものであり、それらを除き、比較的大規模なものを2件実施した。

例年と比較して調査件数が減少傾向にある

が、内容に関しても、規模の大小を問わず、調査件数の6～7割が民間事業に起因するものであったのが、平成21年度は公共事業起因のものと同数であり、また大半を小規模なものが占めている。これらの要因としては、景気悪化の影響で比較的大規模な民間事業が減少したことが考えられる。景気の動向次第では今後もしばらくこの傾向が続くかもしれない。それに比べて公共事業起因の調査は、多くが道路建設に伴う大規模なもので、全調査期間の大半を占める。特に市道岱明玉名線建設事業は、施工延長が約1kmにおよび長期の試掘・確認調査を実施したが、用地買収や建物の解体・移転が完了していない箇所があるため平成22年度も予備調査を行う予定である。

九州新幹線建設関連の発掘調査はほぼ落ち着いたが、今後は他の大型公共事業（市道建設、新庁舎建設等）が本格化するため、大規模な発掘調査の増加が予想される。

これらの開発行為に伴うもの以外には、自然崩壊に起因する発掘調査を1件実施した。

#### 4 活用

玉名市では例年、開発行為に伴う各種調査（主に試掘・確認調査）に関する調査報告書を刊行しているが、併せて玉名市立歴史博物館こころピアにおいて「たまな発掘速報展」と題した展示公開を実施している。平成21年度は、11月13日～12月13日の日程で行い、期間中約1,200名の来場があった。



写真1 調査風景1



写真2 調査風景2

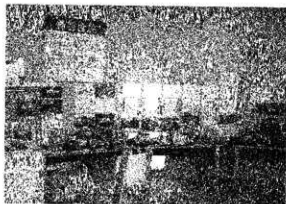


写真3 発掘速報展展示状況1

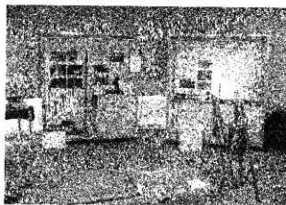
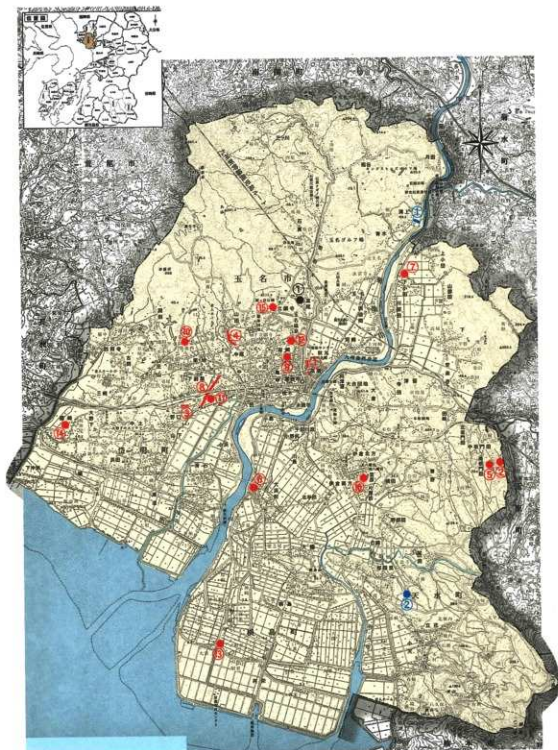


写真4 発掘速報展展示状況2



試掘・確認調査等

- ①市道立願寺横町線予定地 ②開野内原遺跡A地点 ③年の神遺跡 ④市道境川山田線予定地  
 ⑤開野内原遺跡B地点 ⑥新町遺跡 ⑦上小田宮の前遺跡 ⑧市道岱明玉名線予定地  
 ⑨岩崎原遺跡A地点 ⑩築地池下遺跡 ⑪塚原遺跡 ⑫岩崎原遺跡B地点 ⑬末広開堤防跡隣接地  
 ⑭鬼除山千人塚 ⑮松尾遺跡 ⑯宮原土井の内遺跡

測量調査

- ①市道溝上3号線予定地 ②明人林均吾墓

発掘調査

- ①富尾原横穴墓群

第1図 平成21年度調査地位位置図 S=1/100,000

第1表 平成21年度市内建設調査一覧

番号	箇所名	所在地	事業内容	調査種別	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	調査者	調査名称	種別	備考
1	市立立派公園(児童遊園地、児童遊園地)	高瀬字榎町3880 榎3号	市立建設	試験・確認調査	5,034.29	平成21年11月15日 平成22年11月23日～27日	長谷川 公 佐藤 公	TIUJ	調査工事	
2	西野小児童遊園地	中野町字栗原1004-1	土砂採取	確認調査	9,900	平成21年7月31日～6日	田中 康雄	KUH	工事立会	
3	市立中野遊園	池田町神野2790-2 池3号	市立建設	工事立会	—	平成21年7月6、7、27日	田中 康雄	TNK	—	
4	市立高瀬山公園児童遊園地 (山形市立高瀬山公園(池外))	山形市下高瀬472-2 池15号	市立建設	試験・確認調査	3,568.13	平成20年11月4日～11日 平成21年7月15日	長谷川 公 田中 康雄	YMA	調査工事	
5	西野小児童遊園地	中野町字栗原1122-2 池3号	土木建築改良	確認調査	725.68	平成21年7月23日	田中 康雄	KUH	調査工事	
6	新町遊歩	大森町字七郎館547	専用住宅建設	確認調査	525	平成21年8月4日	田中 康雄	SNAI	調査工事	
7	上小田町の駅前	上小田1175-1	福祉施設建設	確認調査	3,987	平成21年9月21日	田中 康雄	KOM	調査工事	
8	市立立派公園児童遊園地 (児童遊園地、児童遊園地、児童遊園地)	高瀬町榎町3570 榎25号	市立建設	試験・確認調査	18,400.91	平成21年3月19日～18日 平成21年9月28日～10月6日 平成21年10月28日～11月9日 平成22年1月25日～29日 平成22年2月13日～19日 平成22年3月11日～23日 平成22年3月25日～26日 平成22年3月29日	田中 康雄 小田 敏子 大森 千寿 佐藤 公	榎田建設 THK 新田建設 KBN 大森建設 GBR	交通誘導 交通誘導 交通誘導 交通誘導	平成22年度より 発注調査実施
9	岩崎児童遊園地	岩崎字北田原1317 池2号	学生遊歩施設	確認調査	2,990	平成21年10月14日～23日	大森 千寿	ISH	工事立会	
10	新橋地下遊歩	新橋字下260-1	河原建設	確認調査	726	平成21年10月22日～23日 平成21年11月20日～27日	藤久 賢史	TIS	調査工事	
11	緑地遊歩	西野町7666	福祉施設建設	試験調査、工事立会	1,316	平成21年10月28日 平成22年1月12日～22日 平成22年3月22日～29日	田中 康雄 小田 敏子	THR	—	
12	岩崎児童遊園地	岩崎687-12	専用住宅建設	確認調査	297.63	平成21年12月25日	田中 康雄	ISH	調査工事	
13	水田周辺の遊歩施設	大森町字栗原5428 池5号(共同家210)	河川建設	試験調査	4,200	平成22年1月25日	水本 崇	—	—	
14	岩崎山公園	岩崎町新橋南遊歩027	文化何種体育施設	確認調査	1,018	平成22年2月22日	寛人 康宏	OYS	調査工事	
15	秋保遊歩	立寄町字高瀬1430 池3号	片側遊歩	確認調査	1,987	平成22年3月17日	水本 崇	MFO	調査工事	
16	岩崎土井の内溝	岩崎字青敷743 池7号	農地造成	確認調査	3,617.47	平成22年3月29日～31日	藤久 賢史	MHD	調査中	
1	有澤橋上り遊歩(児童遊園地)	有澤	市立建設	—	—	平成21年7月27日～8月7日	田中 康雄	—	—	
2	明人林の遊歩	大森町田原字榎ノ半	県庁自営	—	—	平成22年3月1日～19日	高木 康宏	—	—	
1	高瀬町榎木遊歩(16号榎木)	榎556、668-3	市立建設	—	—	平成21年9月24日～12月22日	田中 康雄	TOH	—	

河原・建設局保存

## II 試掘・確認調査等





## 1 市道立願寺横町線予定地

所在地：高瀬字横町386 他3筆  
岩崎字灰島72-1 他20筆  
高瀬357-7・357-9

調査原因：市道建設

調査種別：試掘調査、確認調査

対象面積：5,034.29㎡

調査期間：平成21年6月19日

平成21年11月24日～27日

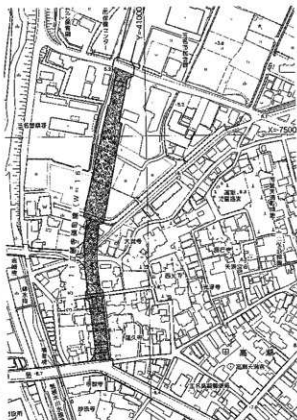
平成22年3月18日

担当者：兵谷有利、齋父雅史、古閑敬士

調査地は、玉名平野南西端部の繁根木川左岸堤防際及び、平野南側に面した自然堤防上の市街地域である。標高は平野部で4～7m、市街地域で6～6.4m程である。前者は玉名平野条里跡の範囲であり、後者は周知の埋蔵文化財包蔵地（以下包蔵地）に含まれない。

調査では、約5,000㎡の調査対象地に13箇所のトレンチを設定した。1～8トレンチは玉名平野条里跡の範囲内であるが、各トレンチとも堆積層の大部分が河川氾濫等によるもので、遺構・遺物は確認されなかった。包蔵地外の9～13トレンチでは、12・13トレンチで近世以降の建物跡・井戸跡を確認したが、調査対象となる埋蔵文化財は確認されなかった。

調査後の措置は慎重工事である。



第2図 市道立願寺横町線予定地位置図 S=1/5,000

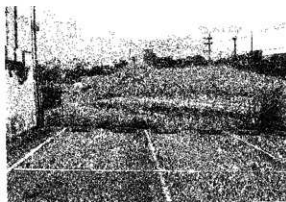


写真5 市道立願寺横町線予定地全景1

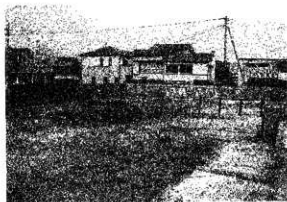


写真6 市道立願寺横町線予定地全景2

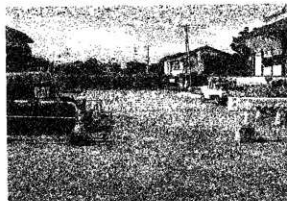
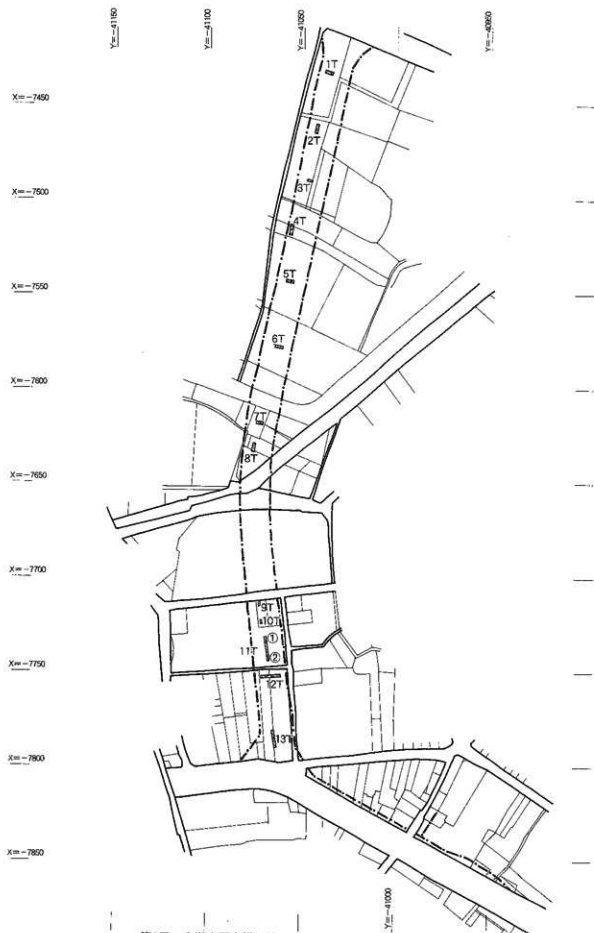
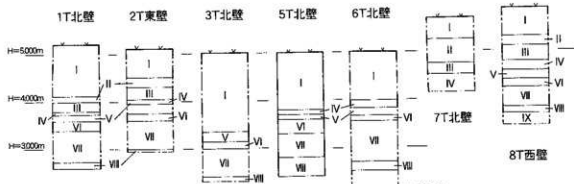


写真7 市道立願寺横町線予定地全景3



第3図 市道立願寺横町線予定地トレンチ配置図 S=1/2,000

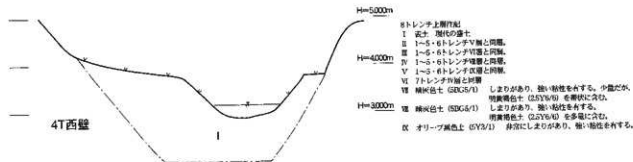


1~3・5・6トレンチ土層日記

- I 表土 現代の盛土。
- II Ⅰ層の下の河川堆積層に伴う堆積土。
- III 灰褐色土 (10YR/3) ややしまりがあり、粘性を有する。砂を多量に含む。
- IV オリーブ褐色土 (5GY/1) しまりが有り、粘性を有する。砂を多量に含む。
- V 灰褐色土 (10YR/3) 非常にしまりがあり、強い粘性を有する。
- VI 濃い黄褐色土 (5YR/4) 非常にしまりがあり、粘性を有する。
- VII 暗褐色土 (5B/3) 非常にしまりがあり、粘性を有する。
- VIII 暗褐色土 (5B/3) 非常にしまりがあり、粘性を有する。

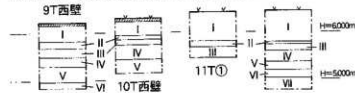
7トレンチ土層日記

- I 表土 現代の盛土。
- II 1~3・6トレンチV層と同層。
- III 暗褐色土 (5B/3) 非常にしまりがあり、わずかに粘性を有する。
- IV 暗褐色土 (5B/3) 非常にしまりがあり、わずかに粘性を有する。或る層を多少含む。



4トレンチ土層日記

- I 暗褐色土 (5B/3) しまりがあり、強い粘性を有する。水の影響を除く受けられていると思われる。

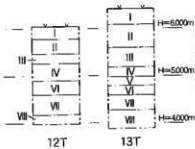


9・10トレンチ土層日記

- I 表土 山砂や河川堆積層等による盛土。
- II 褐色土 (7.5YR/4) しまりがあり、粘性を有する。白色砂粒、炭化物を多少含む。
- III 暗褐色土 (5YR/4) ややしまりがあり、やや強い粘性を有する。白砂粒、炭化物をわずかに含む。
- IV 褐色土 (7.5YR/4) しまりがあり、強い粘性を有する。炭化物、褐色土 (V層) をブロック状に多少含む。
- V 濃い黄褐色土 (5YR/4) しまりがあり、やや強い粘性を有する。炭化物をブロック状にわずかに含む。
- VI オリーブ褐色土 (5Y/3) しまりがあり、やや強い粘性を有する。

11トレンチ土層日記

- I 表土 山砂や河川堆積層等による盛土。
- II オリーブ褐色土 (5Y/3) しまりがなく、やや強い粘性を有する。
- III 暗褐色土 (5YR/3) ややしまりがあり、わずかに粘性を有する。炭化物や1cm程度の礫を多く含む。
- IV 暗褐色土 (10YR/3) ややしまりがあり、粘性を有する。炭化物、小礫をわずかに含む。
- V 暗褐色土 (7.5YR/3) ややしまりがあり、粘性を有する。炭化物を多く含む。河川堆積層の表土が、あまりしまりがない、やや強い粘性を有する。炭化物の付着が認められる。
- VI 暗褐色土 (10YR/3) しまりがなく、強い粘性を有する。
- VII 濃い黄褐色土 (5YR/4) あまりしまりがなく、強い粘性を有する。
- VIII 濃い黄褐色土 (5YR/4) しまりがあり、やや強い粘性を有する。



12・13トレンチ土層日記

- I 表土 山砂による盛土。
- II 暗褐色土 (10YR/3) しまりがなく、粘性を有しない。
- III 暗褐色土 (10YR/3) ややしまりがなく、やや強い粘性を有する。炭化物の付着が認められる。
- IV 暗褐色土 (10YR/3) しまりがなく、強い粘性を有する。炭化物の付着が認められる。
- V 濃い黄褐色土 (5YR/4) しまりがなく、多少粘性を有する。炭化物の付着が認められる。
- VI 暗褐色土 (10YR/3) しまりがなく、強い粘性を有する。小礫を多量に含む。

第4図 市道立願寺横町線予定地土層図

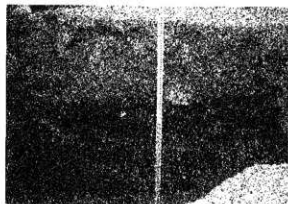


写真8 市道立願寺横町線1T土層断面

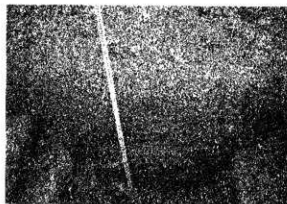


写真9 市道立願寺横町線2T土層断面

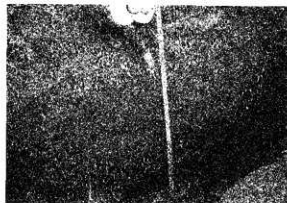


写真10 市道立願寺横町線3T土層断面

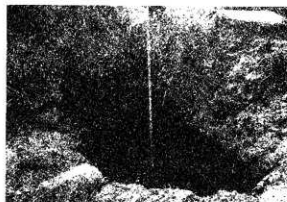


写真11 市道立願寺横町線4T土層断面

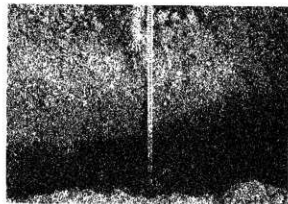


写真12 市道立願寺横町線5T土層断面

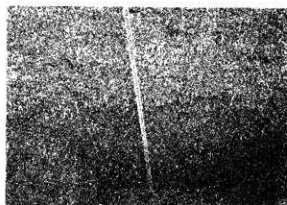


写真13 市道立願寺横町線6T土層断面

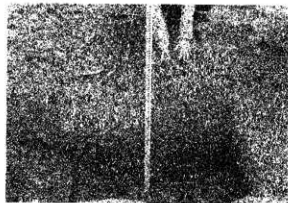


写真14 市道立願寺横町線7T土層断面

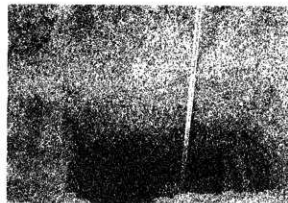


写真15 市道立願寺横町線8T土層断面

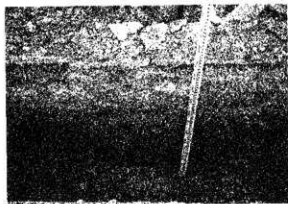


写真16 市道立願寺横町線9T土層断面

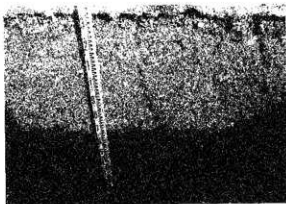


写真17 市道立願寺横町線10T土層断面

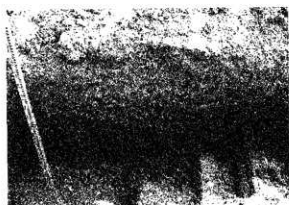


写真18 市道立願寺横町線11T北側土層断面



写真19 市道立願寺横町線11T南側土層断面

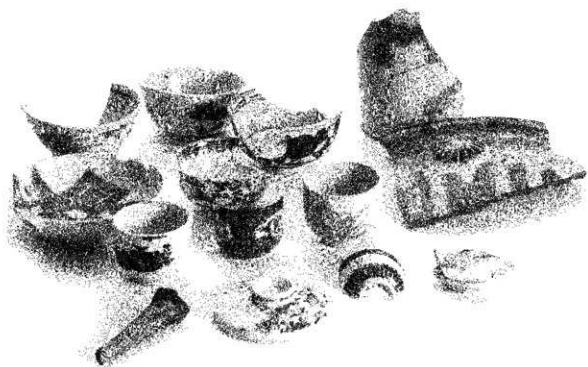


写真20 市道立願寺横町線出土遺物

## 2 開野内原遺跡A地点

所在地：中坂門田宇東原1054-1 他3筆

調査原因：土砂採取

調査種別：確認調査

対象面積：9,900㎡

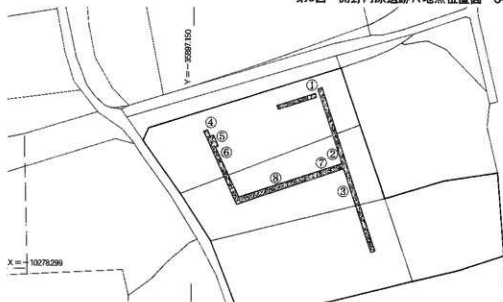
調査期間：21年7月3日～6日

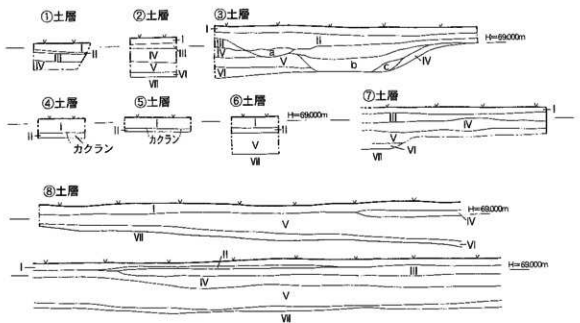
担当者：田中康雄

調査地は、玉名市東部に位置する伊倉丘陵性台地上の標高70m程の地点である。玉名郡玉東町との境に隣接した畑地であったが、周辺の状況から旧蜜柑畑と想定される。

今回の調査では、調査対象地内に4箇所のトレンチを設定した。結果、近世以降に少なくとも2回造成が行われ、地形が大きく改変されている状況が確認された。土層堆積状況から、旧地形は調査対象地の南西部から北及び北東部への傾斜地であったと考えられるが、現況は1枚の平坦な畑地であり、対象地南西部がより大きく削平されていると考えられる。各トレンチのⅡ・Ⅲ層中には近現代の磁器片、Ⅳ層中には時期不明の土器片、Ⅴ層中には縄文～古墳時代のもと思われる土器片が多少含まれるが、畑地造成に伴う盛土もしくは造成以前の旧耕作土と考えられる。ま

た、3トレンチで確認したカクラン（畑地造成前の溝か）内より古代期のもと思われる須恵器小片が確認された。これらのことから、調査対象地及びその周辺は、縄文時代から古代期にかけての複合遺跡であった可能性が考えられるが、旧蜜柑畑の造成及びその後の畑地造成により遺構面が削平され、遺構は残存していないと想定される。しかし、縄文～古代期の遺物が確認されたことから、調査後の措置は、土砂採取時に立会を行うこととなった。



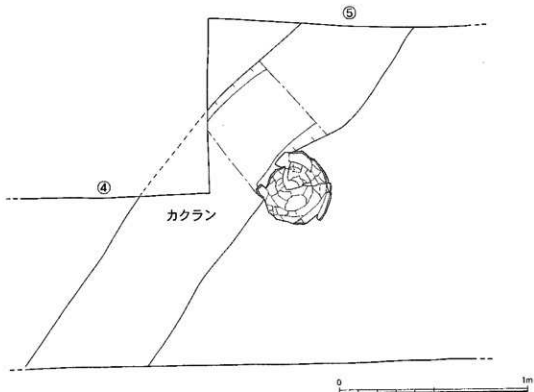


土層記号

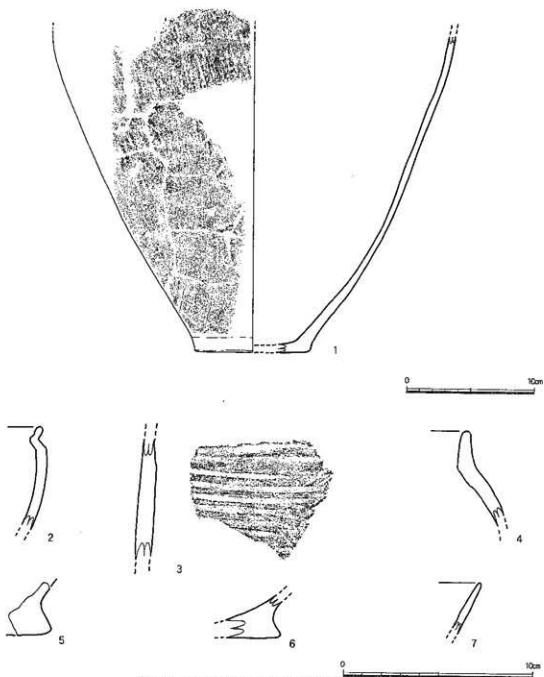
- I 黄褐色土 (ZSY93/2) しまりがなく、わずかに粒感を有する。灰質凝結部、ヒココ・ホネ、炭化部等を含有し、灰化の傾向あり。  
 II 暗褐色土 (ZSY93/3) しまりあまりがなく、粒感を有しない。細砂・細砂質土、中砂質土、赤・黄色土層を多く含む。  
 III 黄褐色土 (ZSY93/4) しまりあまりがなく、わずかに粒感を有する。黄砂・黄砂質土を多く含む。層の下部に多少の土層が認められる。  
 IV 暗褐色土 (ZSY93/5) しまりあまりがなく、わずかに粒感を有する。灰化の傾向が認められる。灰化の傾向が認められる。灰化の傾向が認められる。  
 V 暗褐色土 (ZSY93/6) しまりあまりがなく、粒感を有する。黄砂・黄砂質土を多く含む。層の下部に多少の土層が認められる。灰化の傾向が認められる。灰化の傾向が認められる。灰化の傾向が認められる。

- VI 黄褐色土 (ZSY93/7) しまりがあり、強い粒感を有する。灰化傾向が認められる。  
 VII 赤土 (ZSY93/8) しまりあまりがなく、粒感を有する。灰化傾向が認められる。  
 A 暗褐色土 (ZSY93/9) しまりあまりがなく、粒感を有する。黄砂・黄砂質土を多く含む。  
 B 暗褐色土 (ZSY93/10) しまりあまりがなく、粒感を有する。黄砂・黄砂質土を多く含む。  
 C 暗褐色土 (ZSY93/11) しまりあまりがなく、粒感を有する。

第7図 開野内原遺跡A地点土層図



第8図 開野内原遺跡A地点④⑤平面図



第9回 開野内原遺跡A地点出土遺物実測図



写真21 開野内原遺跡A地点全景1



写真22 開野内原遺跡A地点全景2





写真23 開野内原遺跡A地点トレンチ東側全景写真

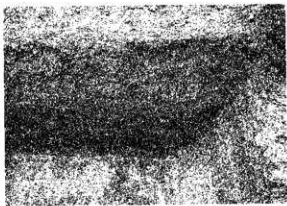


写真24 開野内原遺跡A地点①土層断面写真



写真25 開野内原遺跡A地点③土層断面1写真

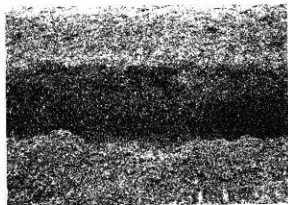


写真26 開野内原遺跡A地点③土層断面2写真

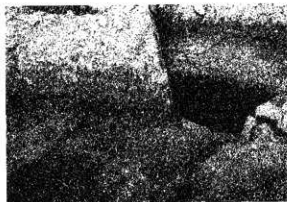


写真27 開野内原遺跡A地点④⑥土層断面写真写真

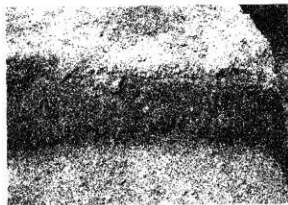


写真28 開野内原遺跡A地点⑦土層断面写真



写真29 開野内原遺跡A地点⑧土層断面写真



写真30 開野内原遺跡A地点遺物出土状況

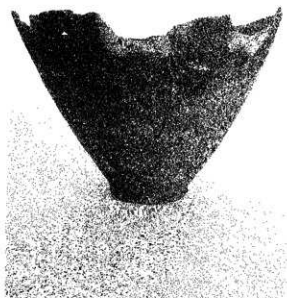


写真31 開野内原遺跡A地点出土遺物1



写真32 開野内原遺跡A地点出土遺物2

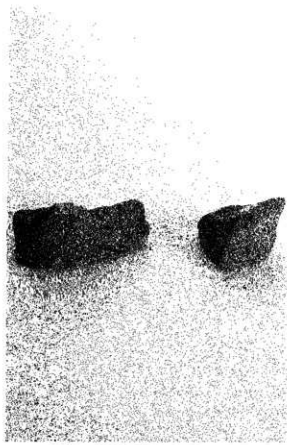


写真33 開野内原遺跡A地点出土遺物3

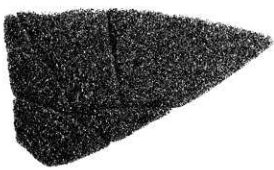


写真34 開野内原遺跡A地点出土遺物4

### 3 年の神遺跡

所在地：岱明町野口2792-2 2筆

調査原因：市道建設

調査種別：工事立会

調査期間：21年7月6日・7日・27日

担当者：田中康雄

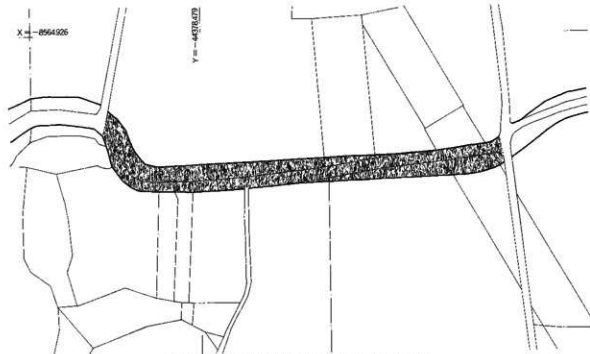
対象地は、玉名市の西部に位置する。市北部の小代山地（主峰筒ヶ岳 標高501m）を源流とする友田川の左岸に面した低位丘陵上の標高17.5m程の地点である。市道早馬線建設に伴い平成19年度に確認調査を実施し、その際には弥生時代中期と考えられる遺構・遺物包含層及び開田時の客土中に含まれる多量の土器片（弥生時代中期）が確認された。施工内容から遺構・遺物包含層に対しては影響を与えないものの、開田時の客土には掘削が及び、施工時に多量の土器片が出土すると想定されたため、施工時に立会を実施した。以下立会時に確認した遺物を掲載する。



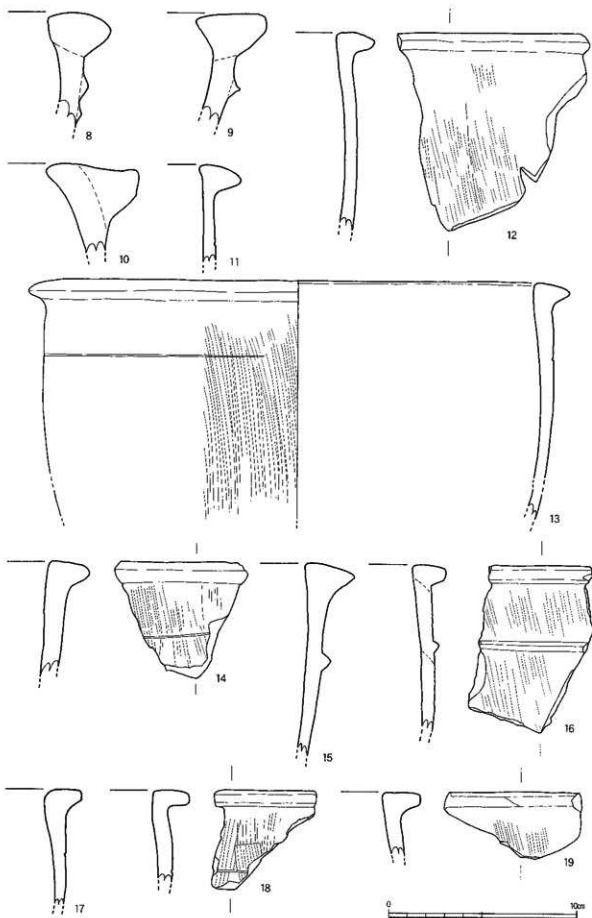
第10図 年の神遺跡工事立会位置図 S=1/5,000



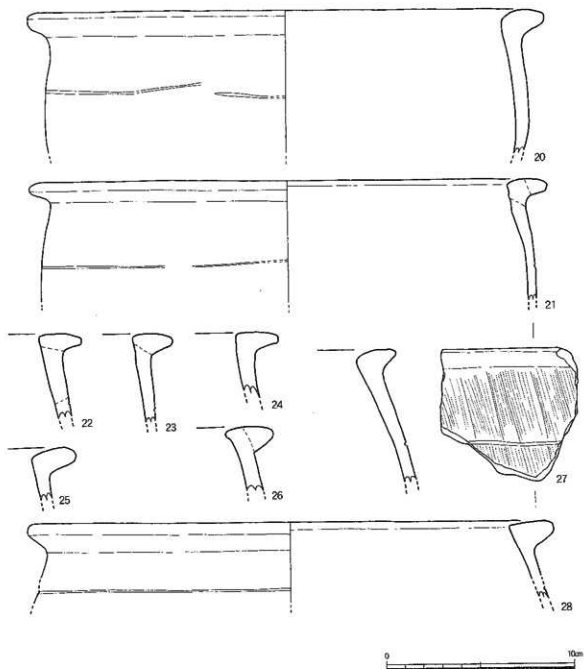
写真35 年の神遺跡調査地全景



第11図 年の神遺跡工事立会範囲図 S=1/1,000



第12図 年の神遺跡出土遺物実測図1



第13図 年の神遺跡出土遺物実測図2

第12図から第19図は工事立会時に出土した土器（甕・壺・器台・高坏等）及び石器（磨石・敲石）である。

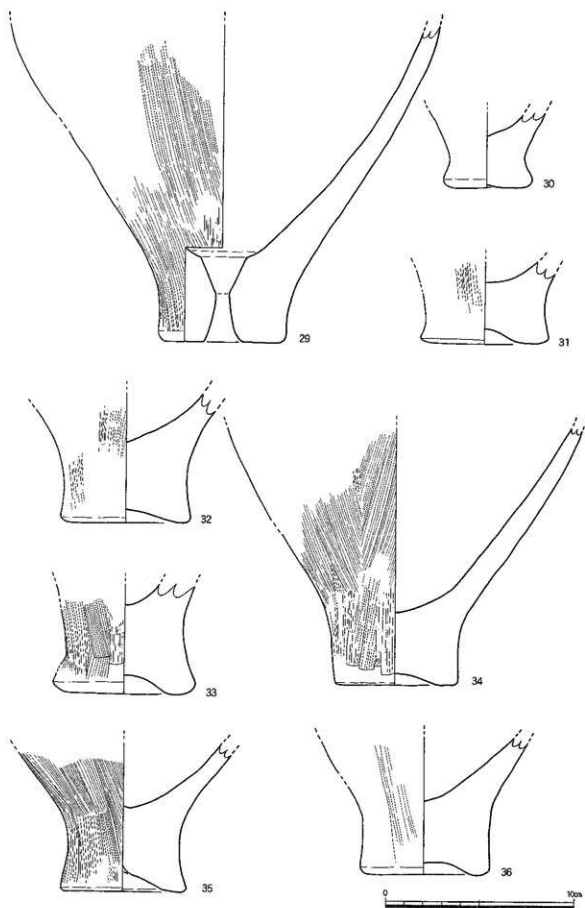
甕（第12～15図、第16図46～51）

すべて弥生時代中期の甕であり、大半が破壊された甕棺片と思われる。一部に赤彩が残存する。

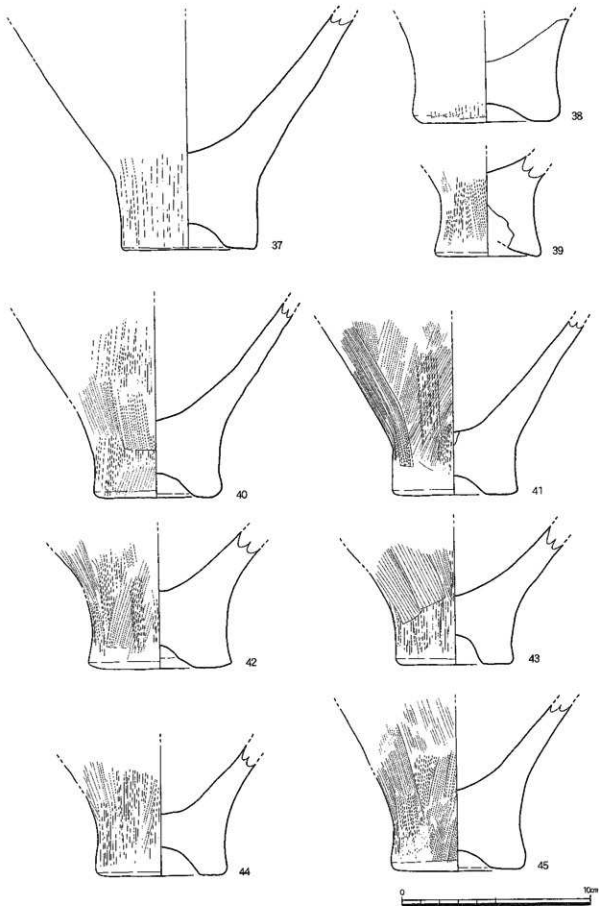
8～28までは甕口縁部である。断面形状は丸みを帯びた三角形もしくは台形を呈し、それらがやや扁平化したものも見られる。

内側への張り出しは弱く、口縁部に向かいほぼ直立するかわずかに内傾する。口縁部下に断面三角形の貼付突帯もしくは沈線を有するものが見られる。

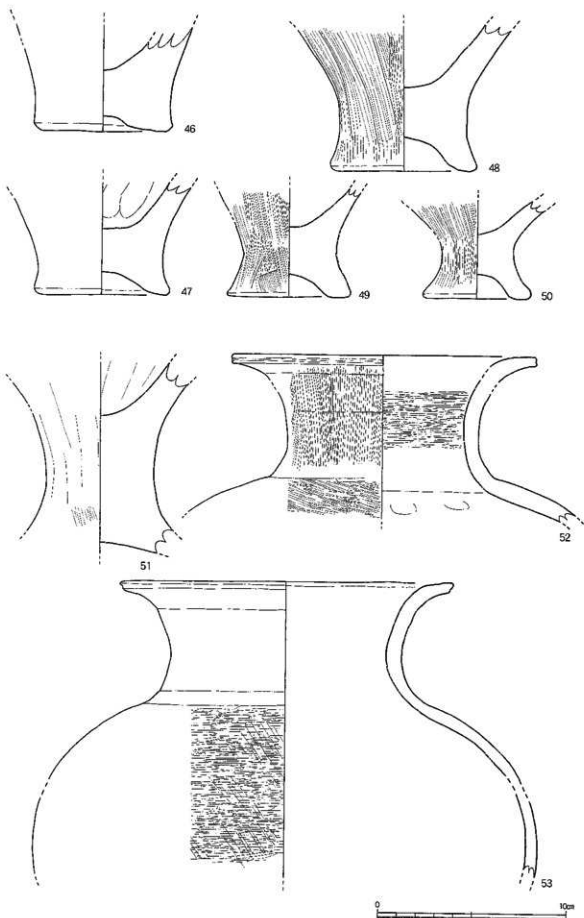
29～51は甕底部である。多くは上底もしくはやや上底ぎみであるが、脚台状のものも見られる。第14図29には、底部に甕棺の水抜き穴と思われる穿孔（焼成前）が施されている。51は甕脚部として扱ったが、別器種の脚柱部の可能性も考えられる。



第14図 年の神遺跡出土遺物実測図3



第15図 年の神遺跡出土遺物実測図4



第16図 年の神遺跡出土遺物実測図5



壺 (第16図52・53 第17・18図)

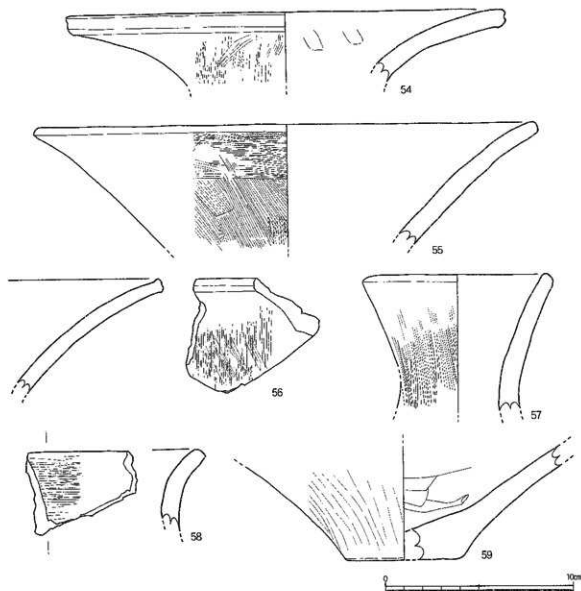
52・53は胴部上位から中位以下を欠損するが、中位に最大径を有し、やや扁平気味の球形を呈すると思われる。頸部から内傾ぎみに短く立ち上がり、その後直線的に閉き、口縁部直下で短くラッパ状に開く。口唇部に沈線状の窪みを有する。

54は口縁部のみ残存する。口縁部直下で屈曲し、端部に向かい外反ぎみに大きく開く。端部は外側にわずかに突出し、口唇部に窪みを有する。

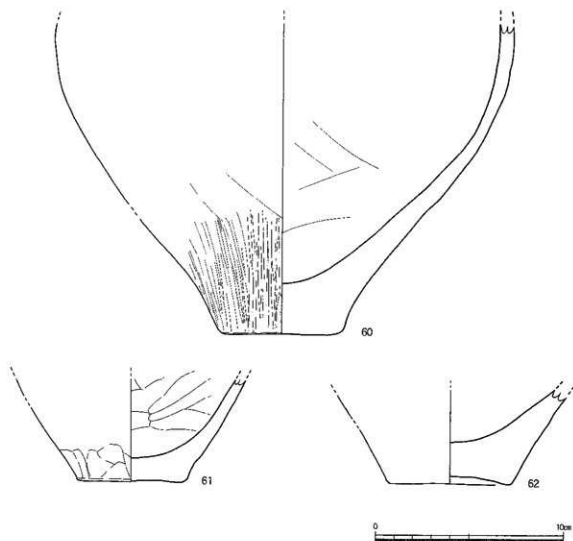
55・56も口縁部のみ残存する。両者とも口縁部に向かいほぼ直線的に大きく開く。57端部は丸みを帯びる。58端部は内外面ともわずかに突出し、口唇部に沈線状の窪みを有する。

57・58は短頸壺である。57はやや内傾ぎみに立ち上がり、頸部中位から口縁部に向かい直線的に多少開く58は頸部中位から口縁部に向かい外反しながら短く開く。両者とも端部はやや丸みを帯びる。

59～62は壺底部と思われる。平底もしくは上底ぎみの平底である。



第17図 年の神遺跡出土遺物実測図6



第18図 年の神遺跡出土遺物実測図7

器台 (第19図63~66)

63は口縁部がわずかに外反し、筒部はほとんど開かない。裾部はわずかに開き、端部はわずかに内湾する。口縁部、裾部とも端部は丸みを帯びる。器壁が非常に厚い。

64は筒部から口縁部に向かって直線的に開き、端部は丸みを帯びる。

65は脚裾部に向かってわずかに外反しながら開き、端部はやや丸みを帯びる。66は筒部から口縁部に向かってはほとんど開かず、口縁部直下でわずかに外反する。端部はやや丸みを帯びる。

高坏 (第19図67)

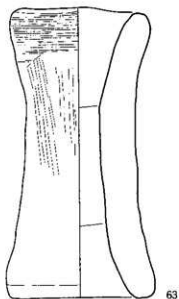
高坏の脚柱部である。ほぼ直立しているが、坏部、脚裾部とも欠損しているため、形状は不明である。

不明土器 (第19図68)

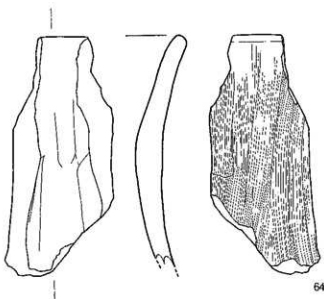
甕もしくは壺の胴部片と思われるが、周辺を打ち欠くことで意図的に丸く加工されている。用途は不明である。

石器 (磨石・敲石 第19図69)

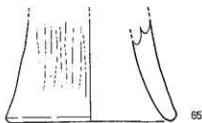
安山岩製で、長さ8.7cm、幅8.0cm、厚さ5.5cm、重さ426gを測る。



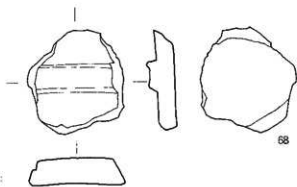
63



64



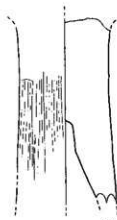
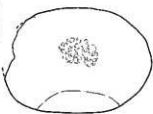
65



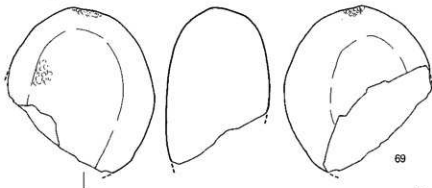
68



66



67



69



第19図 年の神遺跡出土遺物実測図8

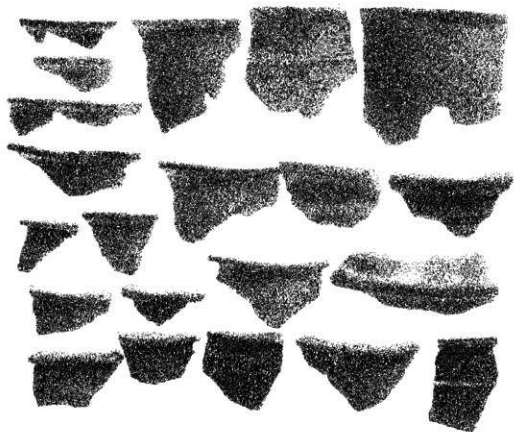


写真36 年の神遺跡出土遺物1

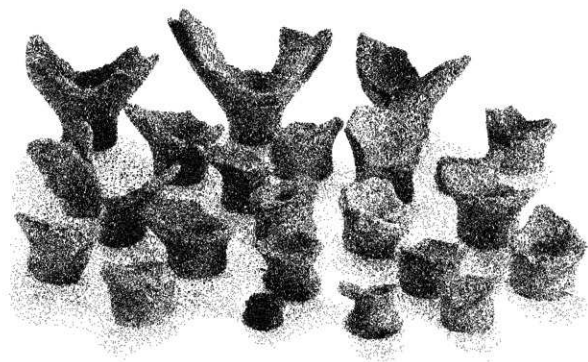


写真37 年の神遺跡出土遺物2

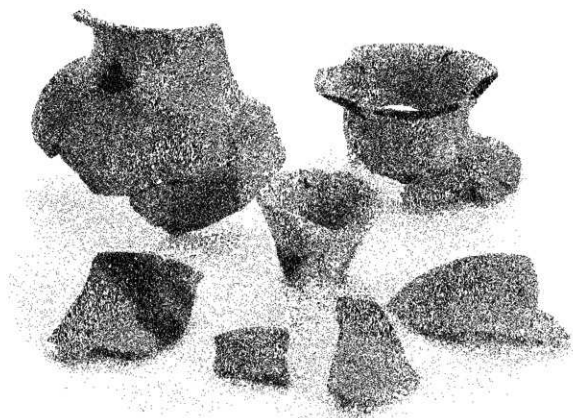


写真38 年の神遺跡出土遺物3

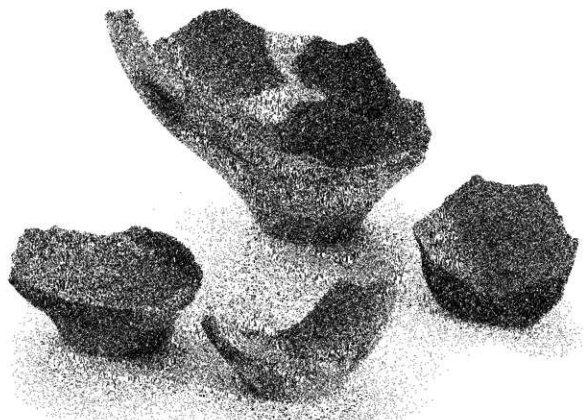


写真39 年の神遺跡出土遺物4

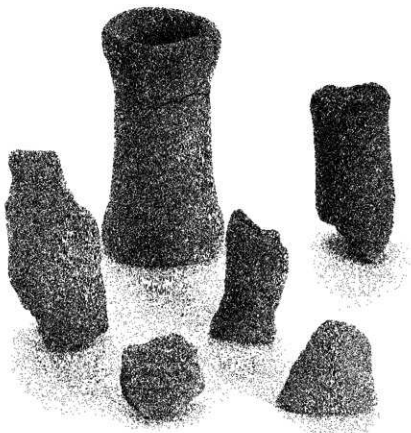


写真40 年の神遺跡出土遺物5



写真41 年の神遺跡出土遺物6

#### 4 市道境川山田線

予定地所在地：山田字下馬場472-2 他11筆  
山田字下馬場459 他3筆

筆調査原因：市道建設

調査種別：試掘調査、確認調査

対象面積：3,569.13㎡

調査期間：平成20年11月4日～11日

平成21年7月16日

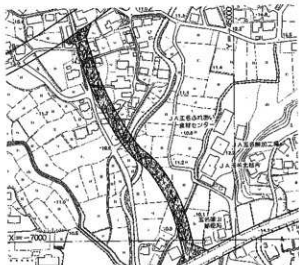
担当者：兵谷有利、田中康雄

調査地は、境川上流域の氾濫原及び、その北側に面した山田日吉神社参道を中心とする丘陵南端部に位置する。標高は氾濫原域で10.5～11.2m程、丘陵上で12.4～13.9m程である。丘陵上は主に宅地で、山田神社門前遺跡の範囲に含まれる。それ以外の部分はほぼ水田であり、周知の埋蔵文化財包蔵地（以下包蔵地）に含まれない。

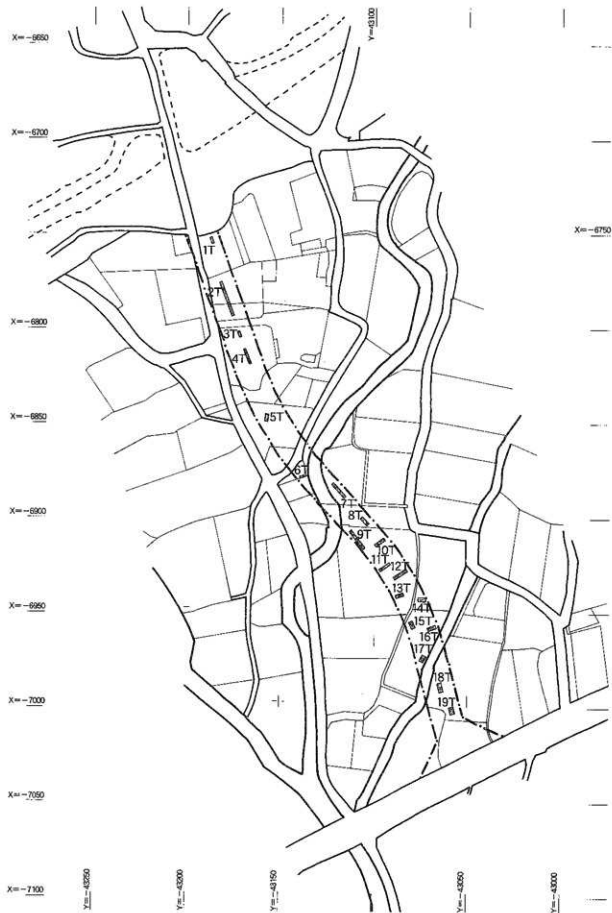
調査では、約3,600㎡の調査対象地に19箇所のトレンチを設定した。1～5トレンチは山田神社門前遺跡の範囲内であり、6～19トレンチは、包蔵地外の氾濫原域にあたる。調査対象地で最も標高が高い宅地部に設定した1トレンチでは、表土（厚さ約20cmで、宅地化時の整地層）下に地山と考えられる土層を確認したが、東側及び北側の敷地と1m以上の比高差があることから、畑地化もしくは宅地化の際に大きく削平されており、確認した地山もその土質から遺構検出面相当層よりかなり下の層と考えられる。2トレンチでは、地表面から最大65cm程の深度まで耕作土及び耕作の影響を受けた層（Ⅱ～Ⅵ層）であり、Ⅵ層中では近現代の瓦・播鉢片とともに中世期の土師器片が確認された。Ⅵ層下には地山層と考えられるⅦ層が所在するが、遺構・遺物ともに確認されていない。このことから、2トレンチ設定範囲においては、畑地造成及び耕作の影響により遺構及び遺物包含

層が残存していないと考えられる。3トレンチでは、地表面から90cm程で地山層（2トレンチⅩ層）を確認したが、上層はすべて宅地造成等による現代の客土であった。4トレンチでは、表土（Ⅰ層）下に非常に硬くしまった層（4トレンチⅡ・Ⅲ層）を確認し、Ⅲ層からは、弥生土器と思われる土器片が出土した。しかしその土質や立地等から、両層とも整地に伴う客土（時期は近世以降か）と考えられる。Ⅲ層以下は、河川氾濫に伴う堆積層と考えられ、遺構・遺物は確認されなかった。5トレンチでは、宅地造成に伴う盛土下に砂層及び強粘質土層を確認したが、4トレンチ同様河川氾濫に伴う堆積層であり、遺構・遺物は確認されなかった。氾濫原域に設定した6～19トレンチにおいては、各トレンチとも表土下に近世・近代の水田跡が確認されたが、その下層はすべて河川氾濫に伴う堆積層であり、遺構は確認されなかった。遺物は、4・5・8・10トレンチにおいて、縄文土器片、弥生土器片（中・後期）、土師器片（古墳）、須恵器片（古代）、磁器片（近現代）を確認したが、大部分がローリングを受けていることから上流域及び周辺からの流れ込みであると考えられる。

調査後の措置は慎重工事である。



第20図 市道境川山田線予定地位置図 S=1/5,000



第21図 市道境川山田線トレンチ配置図 S=1/2,000







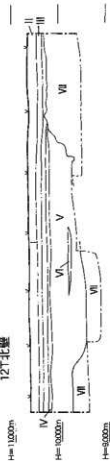
11T北壁



11Tレンガ土留壁

- I 1～V トレント1～V層土留壁
- VI 土留壁
- VII 土留壁
- VIII 土留壁
- IX 土留壁
- X 土留壁

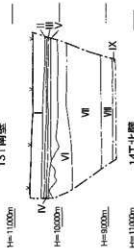
12T北壁



12Tレンガ土留壁

- I 1～V トレント1～V層土留壁
- VI 土留壁
- VII 土留壁
- VIII 土留壁
- IX 土留壁
- X 土留壁

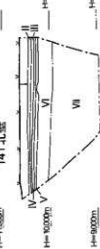
13T南壁



13Tレンガ土留壁

- I 1～V トレント1～V層土留壁
- VI 土留壁
- VII 土留壁
- VIII 土留壁
- IX 土留壁

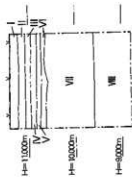
14T北壁



14Tレンガ土留壁

- I 1～V トレント1～V層土留壁
- VI 土留壁
- VII 土留壁
- VIII 土留壁
- IX 土留壁

16T南壁

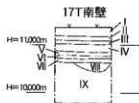


16Tレンガ土留壁

- I 1～V トレント1～V層土留壁
- VI 土留壁
- VII 土留壁
- VIII 土留壁

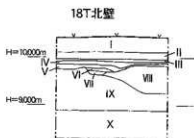
第24図 市瀬川山田鉄予定地土留図3





#### 17T南壁

- 17トレンチ土層記載  
 I～V 7トレンチI～V層と同様。  
 VI 灰褐色土 (G1956/2) 15トレンチIV層と同様。  
 VII におし褐色砂質土 (G1956/2) と灰褐色砂質土 (G1957/2) の混合上 15トレンチIV層と同様。  
 VIII 灰褐色土 (G1954/1) ややしまりがあり、粘質を有する。上部に暗褐色砂 (G1956/3) を少量含む。  
 IX 灰褐色土 (G1954/2) 10トレンチIV層と同様。



#### 18T北壁

#### 18トレンチ土層記載

- I 灰土 堆積にすぎず。  
 II 灰褐色土 (G1956/2) 非常にしまりがあり、粘質を有する。連続的に粘質層とつながる。  
 III 黄褐色土 (G1956/2) 非常にしまりがあり、粘質を有する。上部が砂土とつながる。  
 IV 灰褐色砂質土 (G1957/2) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 V 灰褐色土 (G1956/2) しまりがあり、多少粘質を有する。上部の層位 (G1957/1) おそらくマンガン) を含む。  
 VI におし褐色砂質土 (G1957/2) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 VII 灰褐色砂質土 (G1956/2) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 VIII 灰褐色砂質土 (G1957/2) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。上部の層位 (G1957/1) おそらくマンガン) を含む。  
 IX ヤリブ土 (G1956/2) ややしまりがあり、多少粘質を有する。上部の層位 (G1956/3) おそらくマンガン) を含む。  
 X 暗褐色ににおし砂の堆積と認められる。

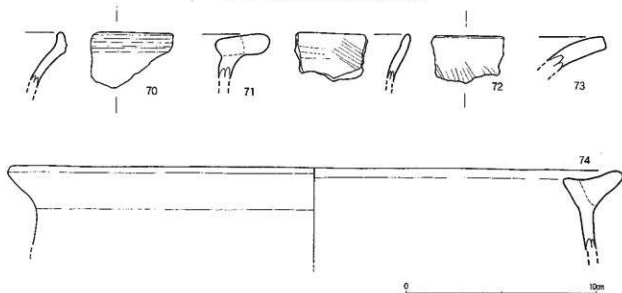


#### 19T東壁

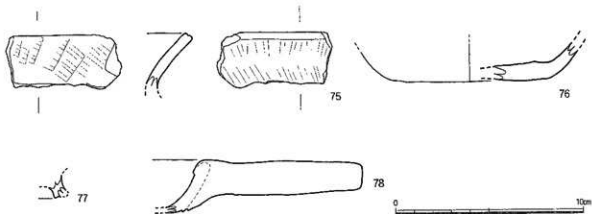
#### 19トレンチ土層記載

- I～III 18トレンチI～III層と同様。  
 IV 黄褐色土 (G1956/3) しまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 V 灰褐色砂質土 (G1956/2) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 VI 黄褐色土 (G1956/2) 2m程度の黄褐色土 (G1957/1) おそらくマンガン) を多く含む。  
 VII 黄褐色砂質土 (G1956/1) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。下部が砂土とつながる。  
 VIII 灰褐色土 (G1956/2) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 IX 黄褐色土 (G1956/1) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 X におし褐色砂質土 (G1956/2) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 XI 黄褐色土 (G1956/1) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 XII におし褐色砂質土 (G1956/2) ややしまりがあり、わずかに粘質を有する。  
 XIII におし褐色砂質土 (G1956/2) ややしまりがあり、粘質を有する。上部の層位 (G1957/1) おそらくマンガン) を含む。  
 XIV 黄褐色土 (G1956/1) ややしまりがあり、粘質を有する。上部の層位 (G1956/3) に黄褐色土を少量含む。  
 XV オリーブ灰土 (G1956/2) 18トレンチIV層と同様。

第25図 市道境川山田線予定地土層図4



第26図 市道境川山田線予定地出土遺物実測図1



第27回 市道境川山田線予定地出土遺物実測図2



写真42 市道境川山田線予定地全景1

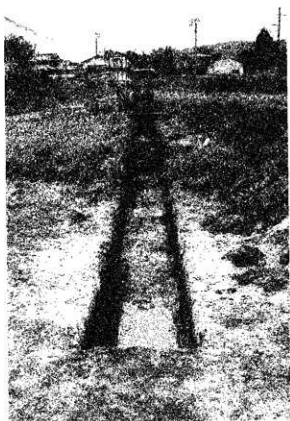


写真44 市道境川山田線予定地2T全景

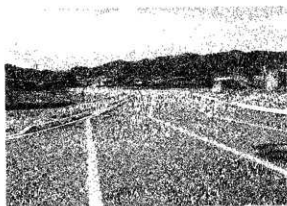


写真43 市道境川山田線予定地全景2

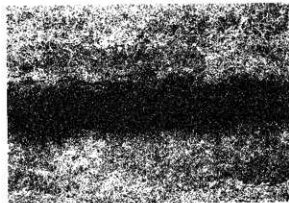


写真45 市道境川山田線予定地2T土層断面



写真46 市道境川山田線予定地4T全景



写真47 市道境川山田線予定地4T土層断面

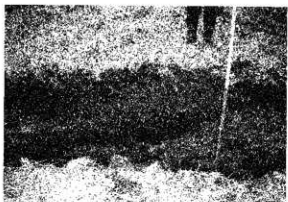


写真48 市道境川山田線予定地9T土層断面



写真49 市道境川山田線予定地10T土層断面

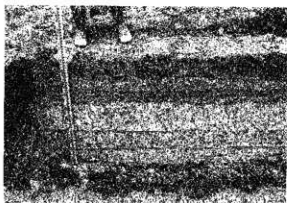


写真50 市道境川山田線予定地11T土層断面



写真51 市道境川山田線予定地12T土層断面

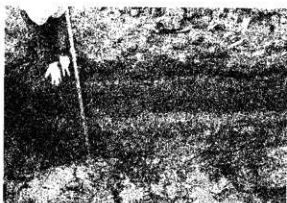


写真52 市道境川山田線予定地13T土層断面

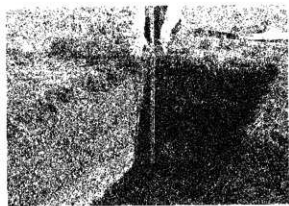


写真53 市道境川山田線予定地14T土層断面

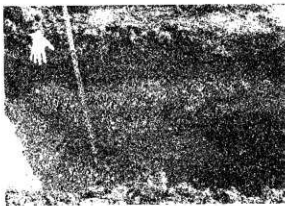


写真54 市道境川山田線予定地15T土層断面



写真55 市道境川山田線予定地16T土層断面

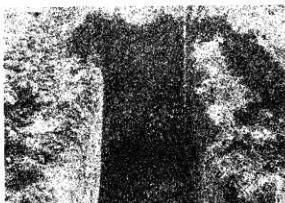


写真56 市道境川山田線予定地17T土層断面



写真57 市道境川山田線予定地18T土層断面

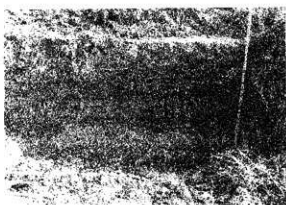


写真58 市道境川山田線予定地19T土層断面



写真59 市道境川山田線予定地出土遺物1

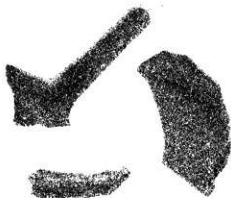


写真60 市道境川山田線予定地出土遺物2

## 5 開野内原遺跡B地点

所在地：中坂門田字馬道1122-2 他3筆

調査原因：上水道施設建設

調査種別：確認調査

対象面積：725.68㎡

調査期間：平成21年7月23日

担当者：田中康雄

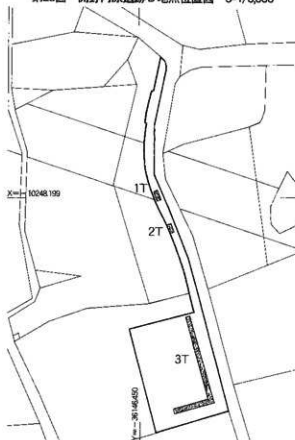
調査地は、玉名市東部に位置する伊倉丘陵性台地上の標高64～68m程の地点である。玉名郡玉東町との境に近く、調査時は荒蕪地であったが周辺の状況から旧畑地及び果樹園と思われる。八嘉東地区簡易水道事業（配水池・管理棟及び取付道路設置）の計画地内であることから、玉名市企業局水道課の依頼を受け確認調査を実施した。

調査では、取付道路設置部に2箇所（1・2トレンチ）、配水池・管理棟設置部に1箇所（3トレンチ）のトレンチを設定し埋蔵文化財の状況を確認した。1トレンチでは、約60cmの深度で地山と思われる層（VI層）を確認したが、遺構は所在せず、その上層でも遺構・遺物はまったく確認されなかった。2トレンチでも、1トレンチで確認したVI層がほぼ同じ深度で確認できると考えていたが、掘削が約2mに及んでも確認できなかった。詳細な土層の観察は行えなかったが、遺物はまったく含まれず、何らかの遺構に伴う堆積ではないと判断した。3トレンチ設置部は、1・2トレンチ設置部より敷地が1.3m程高いため、1トレンチVI層を検出する深度まで掘削できなかったが、その上層に相当する地山と思われる層（VII・VIII・IX層）を確認した。各層とも遺構・遺物は確認されていない。これらの上層においては、IV層中より中世期のすり鉢片1点、V層もしくはVI層中より中世期の土師器片（坏底部）1点を検出したが、遺構は確認されなかった。

これらの調査結果から、当該地については埋蔵文化財がほぼ所在していないと考えられ、調査後の措置は慎重工事となった。

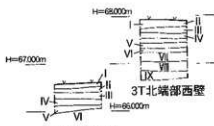


第28図 開野内原遺跡B地点位置図 S=1/5,000



第29図 開野内原遺跡B地点トレンチ配置図 S=1/1,000



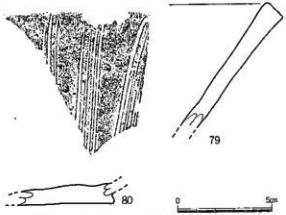


トレンチ上層部  
I 土 築造部 (セコン) の遺土  
II 層状土 (IYR3/4) しまりがあり、粘性を欠かない。朝陽内層 (IYR5/6) と、内層部、2層に分れる。  
III 層状土 (IYR3/4) しまりがあり、粘性を欠さない。朝陽内層 (IYR5/6) と、内層部、2層に分れる。5層よりやや硬い。  
IV 層状土 (IYR3/4) しまりがあり、粘性を欠さない。朝陽内層 (IYR5/6) と、内層部、2層に分れる。  
V 層状土 (IYR3/4) しまりがあり、粘性を欠さない。朝陽内層 (IYR5/6) と、内層部、2層に分れる。  
VI 層状土 (IYR3/4) しまりがあり、粘性を欠さない。朝陽内層 (IYR5/6) と、内層部、2層に分れる。  
VII 層状土 (IYR3/4) しまりがあり、粘性を欠さない。朝陽内層 (IYR5/6) と、内層部、2層に分れる。  
VIII 層状土 (IYR3/4) しまりがあり、粘性を欠さない。朝陽内層 (IYR5/6) と、内層部、2層に分れる。  
IX 層状土 (IYR3/4) しまりがあり、粘性を欠さない。朝陽内層 (IYR5/6) と、内層部、2層に分れる。

1T北端部西壁

トレンチ上層部  
I 黄土 凝結砂土  
II 層状土 (IYR3/4) あまりしまりがなく、多少粘性を有する。築造部を有す。  
III 層状土 (IYR3/4) あまりしまりがなく、多少粘性を有する。  
IV 層状土 (IYR3/4) あまりしまりがなく、粘性を欠さない。  
V 層状土 (IYR3/4) あまりしまりがなく、粘性を欠さない。  
VI 層状土 (IYR3/4) しまりがあり、多少粘性を有する。積層が細かい。跡山に連なる。

第30回 開野内原遺跡B地点土層図



第31回 開野内原遺跡B地点出土遺物実測図

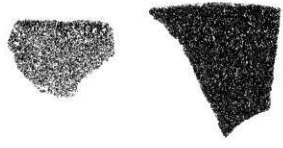


写真61 開野内原遺跡B地点出土遺物1

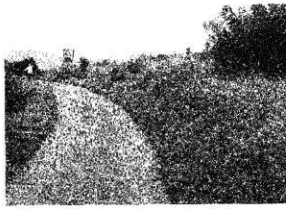


写真62 開野内原遺跡B地点全景1

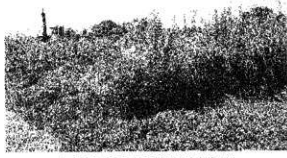


写真63 開野内原遺跡B地点全景2



写真64 開野内原遺跡B地点1T土層断面

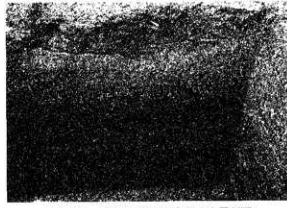


写真65 開野内原遺跡B地点3T土層断面

## 6 新町遺跡

所在地：大浜町字上屋敷547

調査原因：専用住宅建設

調査種別：確認調査

対象面積：523㎡

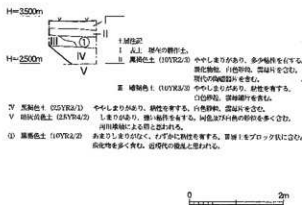
調査期間：平成21年8月4日

担当者：田中康雄

調査地は、菊池川下流域の左岸堤防際に位置する標高3.5m程の地点である。調査時の状況は、宅地内の畑地であった。開発内容は専用住宅の新築で、60cm径の地盤改良杭38本が設置されるため確認調査を実施した。

調査では、施工予定地の北東部にトレンチを設定し人力で掘り下げた。結果、現代及び近代期の攪乱や遺物は確認されたが、調査対象とされる埋蔵文化財は確認されなかった。

調査後の措置は慎重工事である。



第34図 新町遺跡土層図

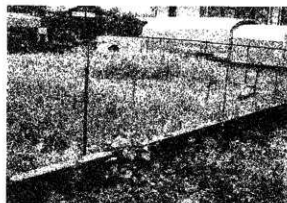


写真66 新町遺跡調査地全景



第33図 新町遺跡トレンチ配置図 S=1/1,000

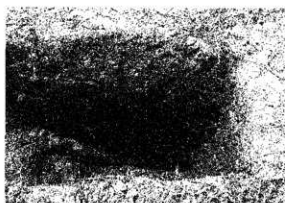


写真67 新町遺跡トレンチ土層断面

## 7 上小田宮前遺跡

所在地：上小田1175-1

調査原因：高齢者専用賃貸住宅建設

調査種別：確認調査

対象面積：3,987㎡

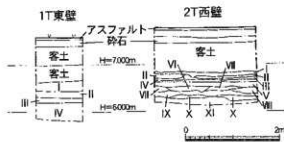
調査期間：平成21年8月21日

担当者：田中康雄

調査地は、菊池川左岸堤防際の標高7.6～7.8m程の地点である。調査時は、アスファルト舗装の駐車場であり、事前に調査依頼を受け、確認調査を実施した。

調査では、建設予定地に2箇所のトレンチを設定した。両トレンチとも、アスファルト及び碎石層下に70～80cmの盛土層が所在した。その下は、造成前の耕作土及び河川氾濫等によると思われる堆積層（粘質土・砂質土）であり、遺構・遺物ともに確認されなかった。

調査後の措置は慎重工事である。



### 1トレンチ掘削記

- I オープン層土 (2373/2) やりしまりがあり、堆積を有する。磁子が確認され、
- II 河成土 (214/1) やりしまりがある。堆積を有する。磁子が確認され、
- III オープン層土 (2373/2) 堆積を有する。磁子が確認され、
- IV オープン層土 (2373/2) やりしまりがある。堆積を有する。磁子が確認され、

### 2トレンチ掘削記

- I オープン層土 (2373/1) やりしまりがあり、わずかに堆積を有する。造成前の耕作層土。
- II オープン層土 (2373/2) やりしまりがあり、わずかに堆積を有する。磁子が確認され、アスファルトに接している。
- III オープン層土 (2373/2) やりしまりがなく、わずかに堆積を有する。磁子が確認され、アスファルトに接している。
- IV オープン層土 (2373/2) やりしまりがなく、わずかに堆積を有する。磁子が確認され、アスファルトに接している。
- V オープン層土 (2373/2) やりしまりがなく、わずかに堆積を有する。磁子が確認され、アスファルトに接している。
- VI オープン層土 (2373/2) やりしまりがなく、わずかに堆積を有する。磁子が確認され、アスファルトに接している。
- VII オープン層土 (2373/2) やりしまりがなく、わずかに堆積を有する。磁子が確認され、アスファルトに接している。
- VIII オープン層土 (2373/2) やりしまりがある。わずかに堆積を有する。磁子が確認され、
- IX オープン層土 (2373/2) やりしまりがある。堆積を有する。磁子が確認され、
- X 河成土 (214/1) やりしまりがある。堆積を有する。磁子が確認され、
- XI 河成土 (214/1) やりしまりがある。堆積を有する。磁子が確認され、
- XII 河成土 (214/1) やりしまりがある。堆積を有する。磁子が確認され、

第37図 上小田宮の前遺跡土層図



第35図 上小田宮の前遺跡調査地位図 S=1/5,000

第36図 上小田宮の前遺跡トレンチ配置図 S=1/1,000

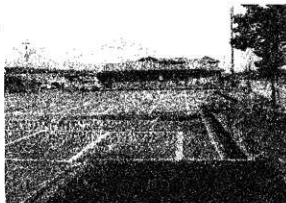


写真68 上小田宮前遺跡調査地全景

## 8 市道岱明玉名線予定地

所在地：岱明町野口570 他22筆

調査原因：市道建設

調査種別：試掘調査、確認調査

対象面積：12,688.82㎡

調査期間：平成21年3月10日～18日

平成21年9月28日～10月6日

平成21年10月28日～11月9日

平成22年1月25日～29日

平成22年2月3日～10日

平成22年3月1日～29日

担当者：田中康雄、古閑敬士、大倉千寿

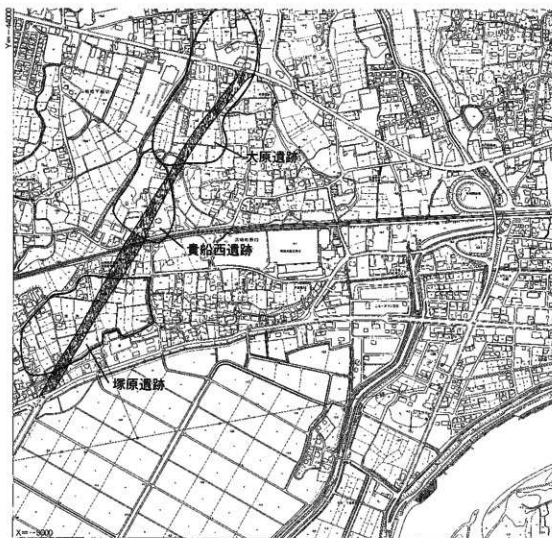
### (1) 調査地の概要

調査対象地は、玉名市中西部の境川右岸平

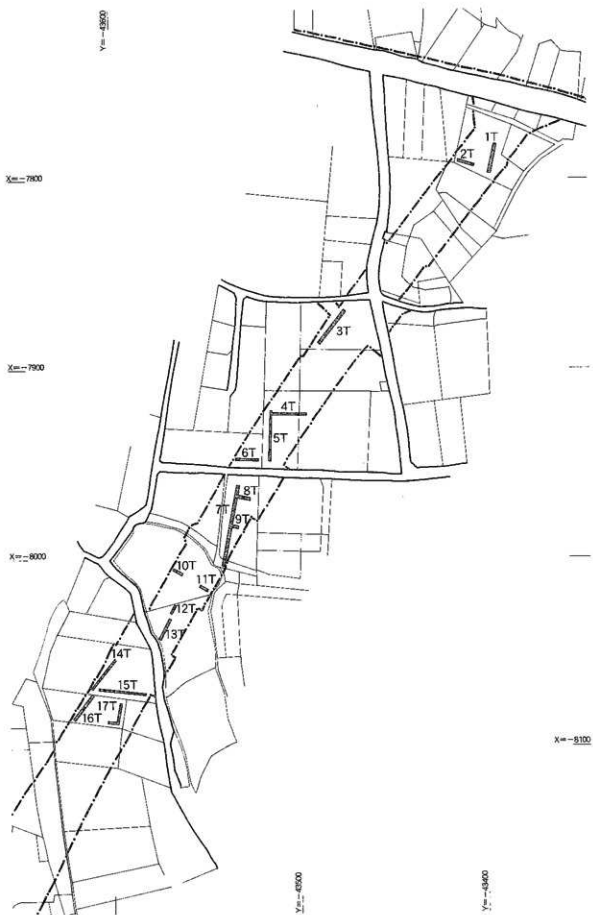
野部北側に面した台地南端部から国道208号線までの延長約1kmの範囲である。北から大原遺跡、貴船西遺跡、塚原遺跡の3遺跡の範囲に含まれ、その範囲外についても大部分が耕作地であることから、多くの埋蔵文化財が残存していると想定された。

### (2) 各トレンチの調査状況

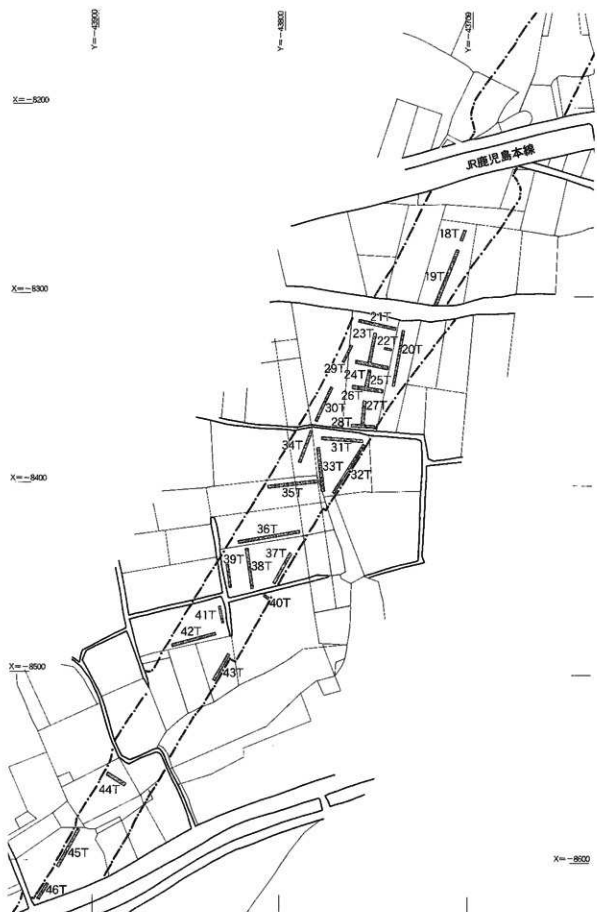
平成20年度から平成21年度にかけては、用地買収等が完了した12,688.82㎡に対して、46箇所の特レンチを設定し埋蔵文化財の状況を確認した。その結果、9箇所のトレンチ（1・2、10～13、44～46）を除きすべてのトレンチで埋蔵文化財が確認された。各トレンチの状況は以下のとおりである。



第38図 市道岱明玉名線予定地位置図 S=1/10,000



第39図 市道岱明玉名線予定地トレンチ配置図1 S=1/2,000



第40図 市道岱明玉名線予定地トレンチ配置図2 S=1/2,000

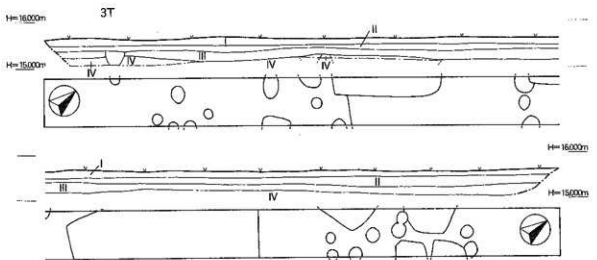
### 1・2トレンチ (岱明町野口22-1)

調査対象地の北端部にあたる。国道208号線沿いの店舗跡地で、周辺の地形から台地に囲まれた谷状の窪地を埋め立てにより造成したものと想定された。調査の結果、確認した土層の大半は造成時及び建物解体時の客土であり、遺構・遺物は確認されなかった。

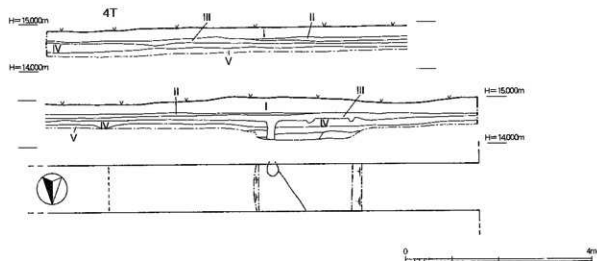
### 3~9トレンチ (岱明町野口552-1他4筆)

1・2トレンチ設置部の南側台地上に位置する耕作地で、大原遺跡の範囲内である。現在の耕作土(開田時の盛土を含む)及び開田

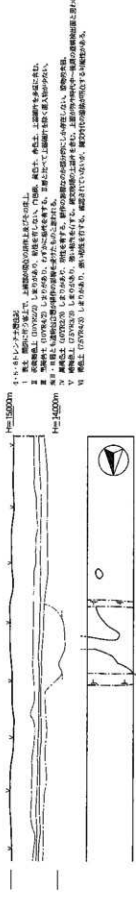
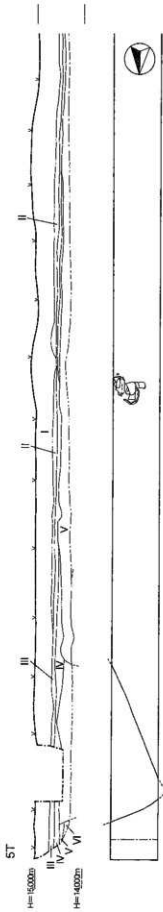
前の旧耕作土下に遺物包含層及び遺構面を検出した。しかし、遺物・遺構ともに密度が非常に高いため、トレンチ調査では遺物包含層と遺構埋土の明確な区別や遺構の切り合い関係の確認が困難であった。確認された遺物から、時期は弥生時代中期から後期と考えられるが、各時期の遺物包含層及び遺構面が所在するかどうかは明確ではない。また5トレンチにおいて、縄文時代晩期の遺物包含層(土器2個体分)が確認されており、未確認ながら同時期の遺構が所在する可能性も考えられる。



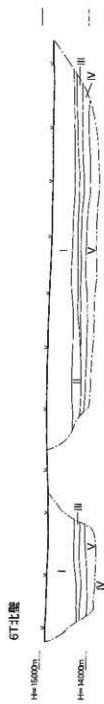
- 3トレンチ土層構成  
 I 表土、現在の耕作土。  
 II 常備包土 (10YR2/2) しまりがあり、わずかに遺物を残す。土器断片を多く含む。旧耕作土。  
 III 赤褐色土 (10YR3/3) しまりがあり、遺物を残す。遺物包含層。  
 IV 解凍包土 (10YR3/4) しまりがあり、粘性を有する。遺構検出面。



第41図 市道岱明玉名線予定地3・4T平面図・土層図

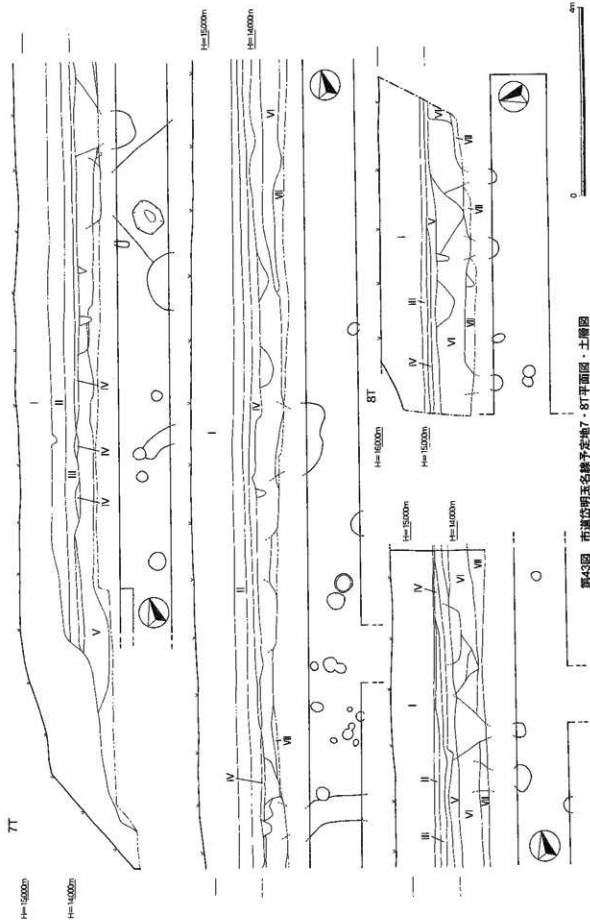


1. 5T・6T北壁の地質  
 2. 5T・6T北壁の地質は、上層部は砂岩・砂質砂岩、中層部は砂岩・砂質砂岩、下層部は砂岩・砂質砂岩、最下層は砂岩・砂質砂岩である。また、上層部には砂岩・砂質砂岩の層理が認められる。また、中層部には砂岩・砂質砂岩の層理が認められる。また、下層部には砂岩・砂質砂岩の層理が認められる。また、最下層には砂岩・砂質砂岩の層理が認められる。

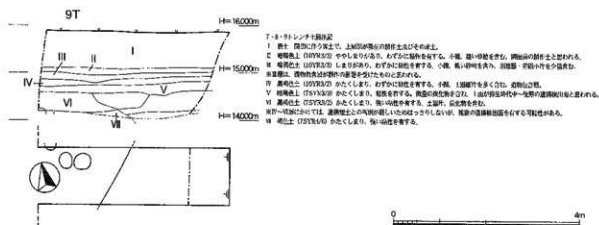


第42図 市道松栢玉名線予定地5・6T平面図・土層図





第43圖 市道街明五名隸予定地7・8T平面圖・土層圖



第44図 市道岱明五名線予定地9T平面図・土層図

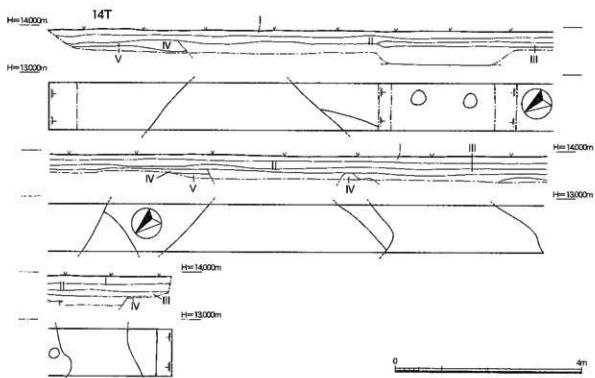
10～13トレンチ (岱明町野口308・309)

7～9トレンチ南側の荒蕪地で、大原遺跡と貴船西遺跡に挟まれた両遺跡の隣接地にあたる。各トレンチとも1～2m程掘削したが、建築廃材等が多量に混入する状況であり、埋蔵文化財は確認されなかった。旧地権者によると、昭和45年以降に溜池を埋め立てたとのことであり、当該地北西部には現在も溜池が所在している。

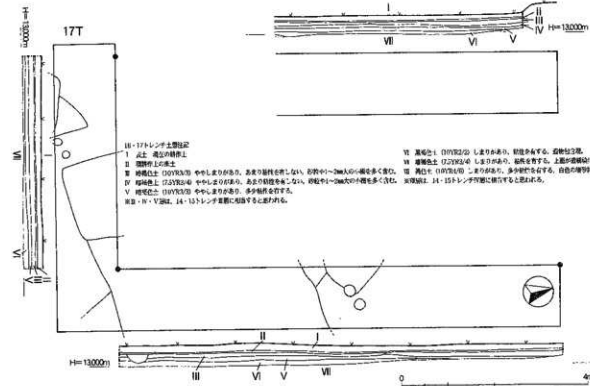
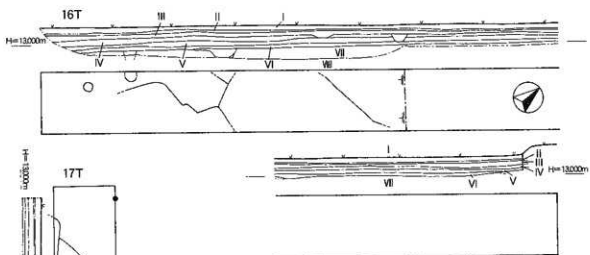
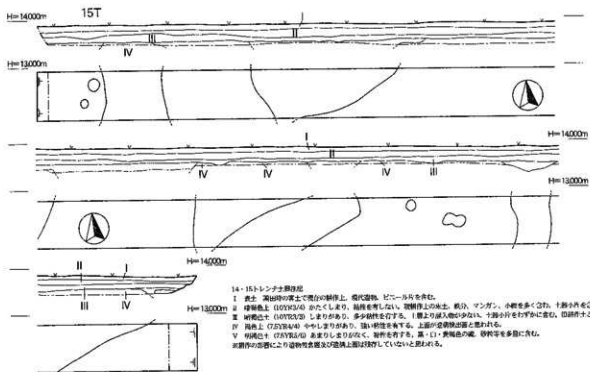
14～17トレンチ (岱明町野口594・596)

7～9トレンチ南側の耕作地で、貴船西遺

跡の範囲内である。14・15トレンチは、耕作の影響により遺物包含層は残存しておらず、遺構面も多少削平を受けているようである。16・17トレンチでは、前者同様耕作の影響を受けているものの、薄くではあるが遺物包含層が残存している。遺構検出面における遺構密度は非常に高く、トレンチのほぼ全域に所在しているようである。出土遺物から弥生時代後期を中心とすると考えられるが、遺構密度の高さから、その前後の時期についても遺構が所在する可能性がある。



第45図 市道岱明五名線予定地14T平面図・土層図



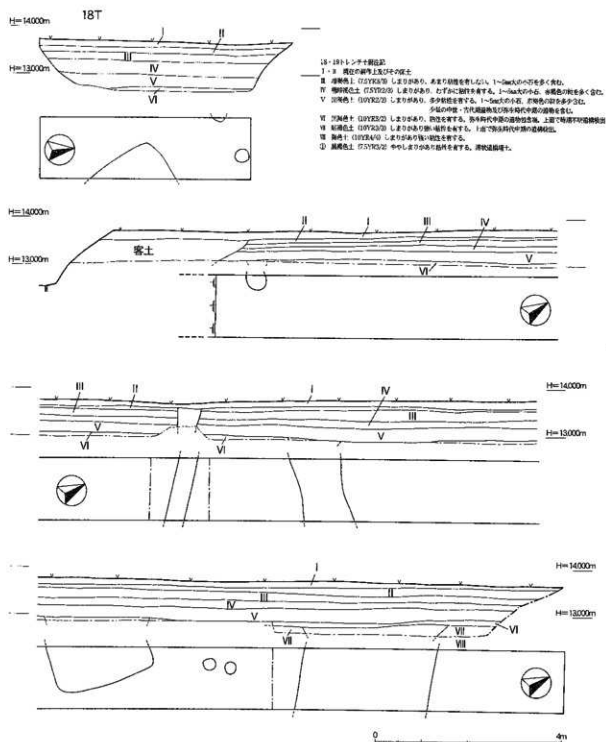
第46図 市道岱明玉名線予定地15・16・17T平面図・土層図

### 18・19トレンチ (岱明町野口634)

JR鹿児島本線南側沿いの耕作地で、塚原遺跡北側の隣接地にあたる。敷地南側の市道際は2.5～3m程盛土により拡張されている。

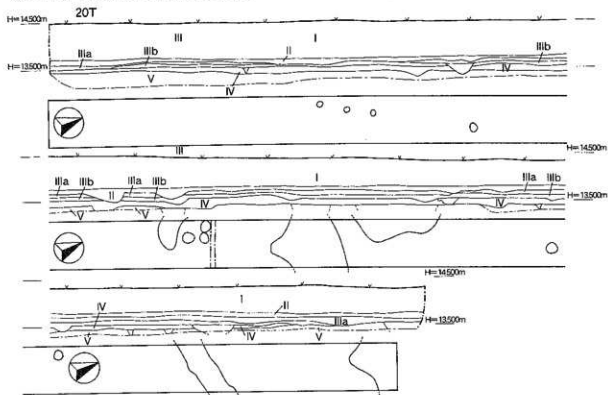
I・II層は現在の耕作土、III・IV層は開田前の旧耕作土である。V層は少量の古代・中世

及び弥生時代中期の遺物が混在することから中世もしくは近世期の耕作土と想定される。VI層は弥生時代中期の遺物包含層で、上面は古代もしくは中世期のものと思われる遺構検出面である。VII層は無遺物層で、上面は弥生時代中期の遺構検出面である。



20～43トレンチ (岱明町野口659他12筆)  
 18・19トレンチ設置箇所 (岱明町野口  
 634) 南側の市道から台地南端部にかけての  
 耕作地で、塚原遺跡の範囲内にあたる。

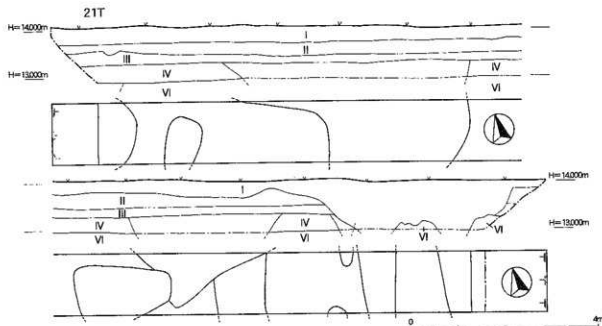
20～28トレンチでは、18・19トレンチとほ  
 ぼ同様の堆積状況であったが、遺構密度が高  
 く、また弥生時代後期の土器片も含まれるこ  
 とから、当該期の遺構の所在が想定される。



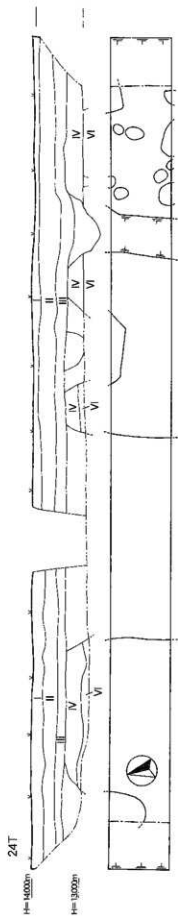
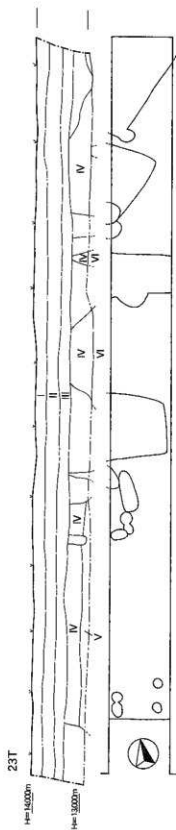
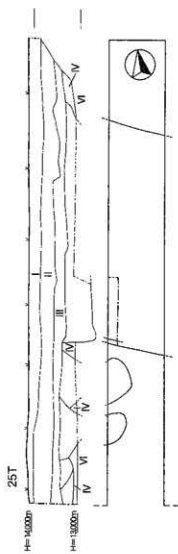
20トレンチ土層記号

- Ⅰ 灰褐色土 (21976/20) 赤土を有し、白土層を多数含む。層が比較的  
 Ⅱ 暗褐色土 (21993/20) 赤土を有し、わずかに粘土を有する。Ⅰ層より少ない中白色層を多数含む。  
 Ⅲ 1. 黒褐色土に赤土を有する。2. 黒褐色土に赤土を有する。  
 Ⅳ 黒褐色土 (21992/20) 赤土を有し、多少粘土を有する。下層より層厚が薄い。中後・古代期の遺構を多数含む。Ⅴ 褐色土 (21976/20) 赤土を有し、多少粘土を有する。白土層を多く含む。Ⅵ 黒褐色土に赤土を有する。層が比較的薄く、層厚が不均一である。

- Ⅲb 黒褐色土 (21976/20) 赤土を有し、多少粘土を有する。白土・褐色層を少量含む。上層層を多く  
 Ⅳa・Ⅳb 赤褐色土。中層・下層層の層厚が不均一である。  
 Ⅴ 暗褐色土 (21976/20) 赤土を有し、多少粘土を有する。上層が比較的薄く、層厚が不均一である。中後・古代期の遺構を多数含む。  
 Ⅵ 褐色土 (21976/20) 赤土を有し、多少粘土を有する。白土層を多く含む。Ⅴ層が赤褐色土の層厚が不均一である。



第48図 市道岱明玉名線予定地20・21T平面図・土層図

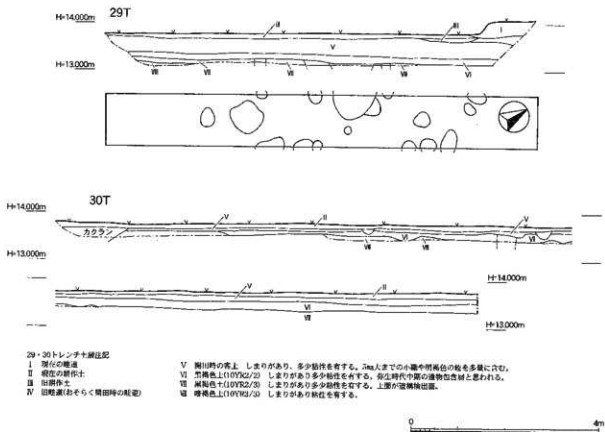


第49図 市道岱明玉名跡予定地22・23・24・25T平面図・土層図



29・30トレンチでは、新旧耕作土下に弥生時代中期の遺物包含層及び遺構検出面のみを確認した。現況で東側耕作地より30～40cm程低いことから、耕作等の影響により上層部の

遺構が消滅したものと考えられる。なお、30トレンチ南側に向かい遺構検出面が緩やかに上昇しており、トレンチ南端部では現耕作面から15cm程で遺構検出面相当層を確認した。



第51図 市道岱明玉名線予定地29・30T平面図・土層図

31・32トレンチでは、表土（現在の耕作土で開田時の客土）及びそれ以前の耕作土下に遺物包含層（2層）及び遺構検出面（2面）を確認した。他のトレンチと比べて、遺構・遺物ともに密度は低い。また同番地内の33トレンチでは、1.9m程の盛土下に地山面を確認した。隣接住民によると、当該地では開田時に大規模な埋め立てが行われたとのことである。

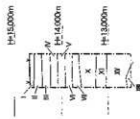
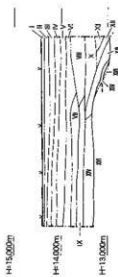
34トレンチ設置箇所は、樹木や雑草が繁茂する状況であり、長期にわたり耕作が放棄さ

れていたと考えられる。現況で当該地を境として南側が40～50cm程高くなっている。トレンチ南側では、現況面から1.1m程下に遺構検出面を確認したが、明確な遺物包含層は所在せず、中世期の遺物がわずかに出土したのみである。この遺構検出面は、トレンチ北側に向かい3段階にわたって落ち込んでおり、トレンチ北端部においては地山面までの深さが2mを越える。おそらく33トレンチと同様の埋め立て箇所と考えられる。





34T



附記事項

- I 表示 概略位置
- II 表示 概略位置
- III 表示 概略位置
- IV 表示 概略位置
- V 表示 概略位置
- VI 表示 概略位置
- VII 表示 概略位置
- VIII 表示 概略位置
- IX 表示 概略位置
- X 表示 概略位置
- XI 表示 概略位置
- XII 表示 概略位置
- XIII 表示 概略位置
- XIV 表示 概略位置
- XV 表示 概略位置
- XVI 表示 概略位置
- XVII 表示 概略位置
- XVIII 表示 概略位置
- XIX 表示 概略位置
- XX 表示 概略位置

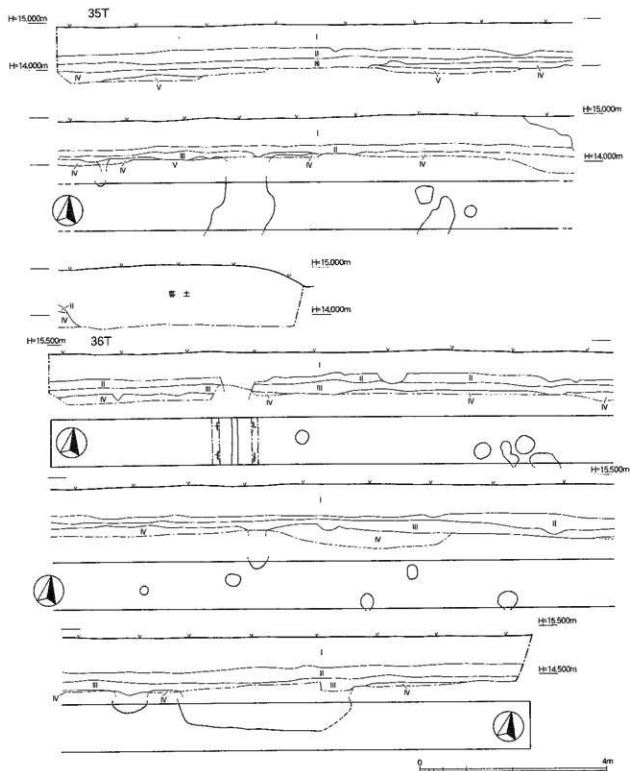
- 31 表示 概略位置
- 32 表示 概略位置
- 33 表示 概略位置
- 34 表示 概略位置
- 35 表示 概略位置
- 36 表示 概略位置
- 37 表示 概略位置
- 38 表示 概略位置
- 39 表示 概略位置
- 40 表示 概略位置
- 41 表示 概略位置
- 42 表示 概略位置
- 43 表示 概略位置
- 44 表示 概略位置
- 45 表示 概略位置
- 46 表示 概略位置
- 47 表示 概略位置
- 48 表示 概略位置
- 49 表示 概略位置
- 50 表示 概略位置



第53図 市道佐明玉名線予定地34T平面図・土層図

35～43トレンチは、平坦な耕作地あるいは竹林及び竹林に挟まれた耕作放棄地に設定した。すべてのトレンチにおいて遺構・遺物が確認され、内38・42トレンチでは、遺物包含層（2層）と遺構検出面（2面）を確認した。

出土遺物から、時期は弥生時代中・後期と考えられるが、上層には古代・中世期の遺物もわずかに含まれており、当該期の遺構が所在する可能性もある。遺構・遺物ともに台地南端部に向かって密度が高くなる。

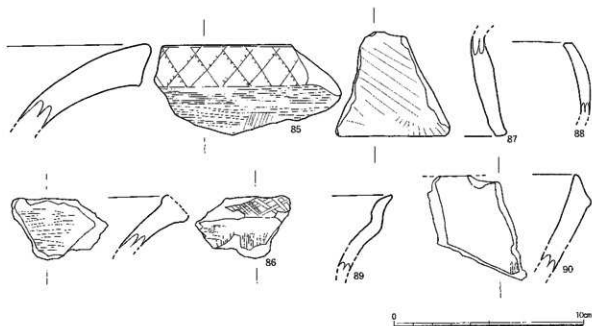


第54図 市道岱明玉名線予定地35・36T平面図・土層図







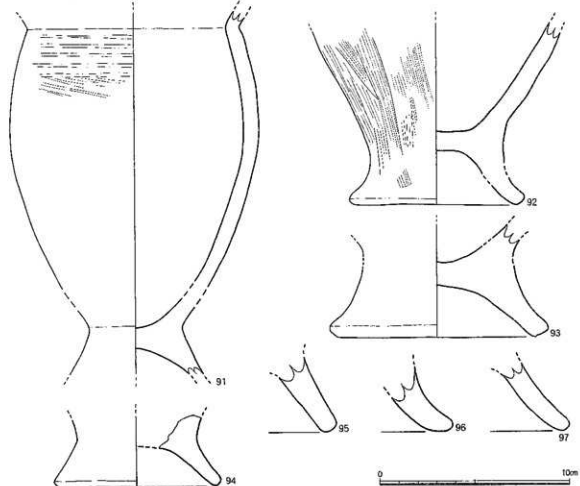


第59図 市道岱明五名線予定地3T出土遺物実測図2

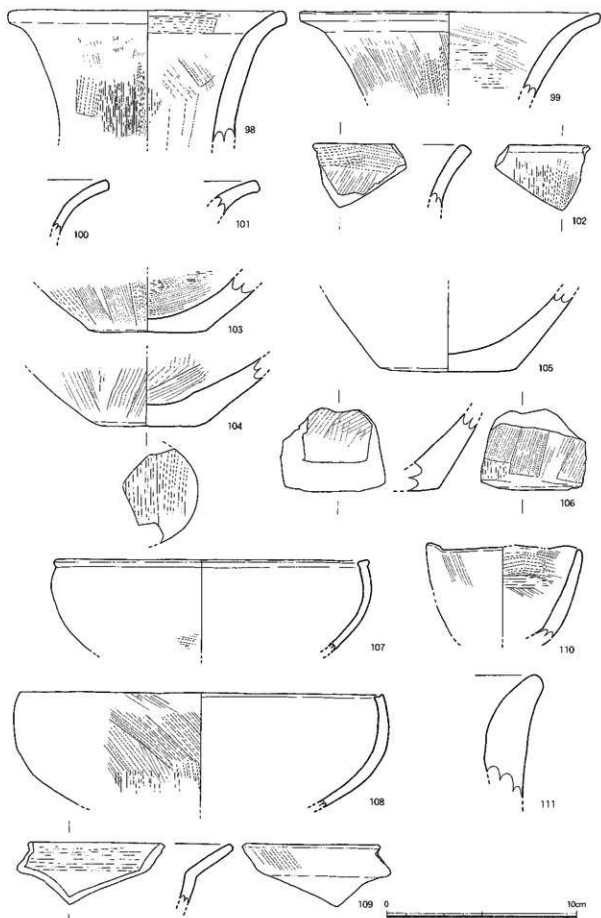
4トレンチ出土遺物 (第60・61図)

すべて弥生時代中・後期 (主に後期か) のもので、IV層及び遺構内からの出土である。

内容は甕 (91~97)・壺 (98~106)・鉢 (107~110)・器台 (111)である。なお平底の底部片についてはすべて壺として扱った。



第60図 市道岱明五名線予定地4T出土遺物実測図1



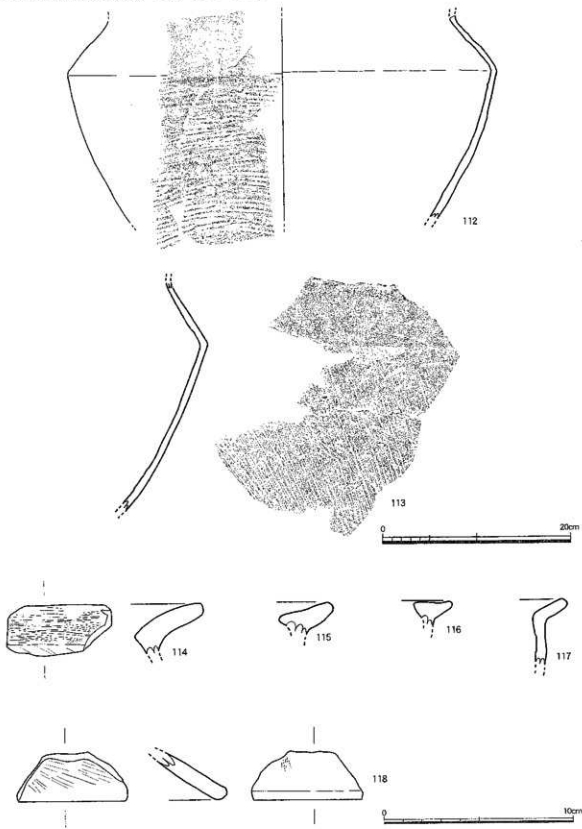
第61圖 市道岱明玉名線予定地4T出土遺物実測図2



## 5 トレンチ出土遺物 (第62図)

縄文時代晩期の深鉢 (112・113) 及び弥生時代中期 (118は後期か) の甕 (114~118)

で、前者はV層、後者はIV層及び遺構内からの出土である。なお119については鉢脚部の可能性も考えられる。

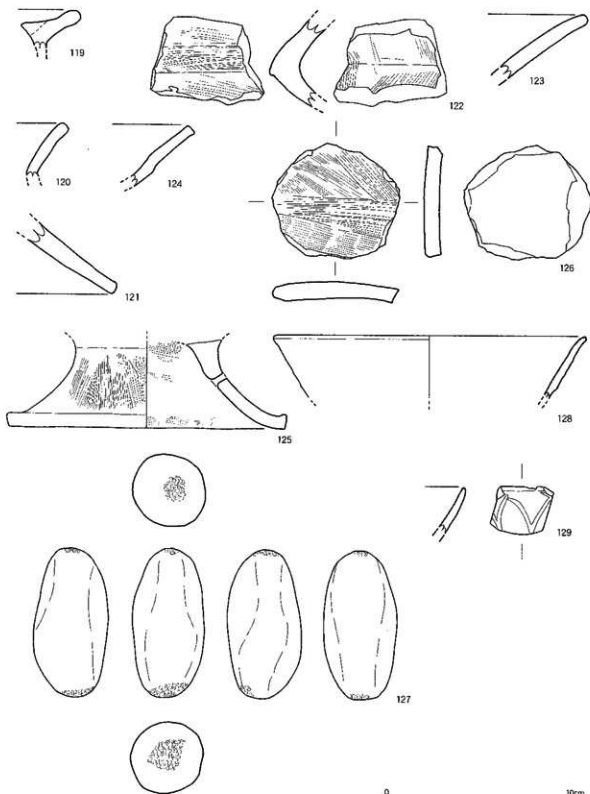


第62図 市道岱明五名線予定地5T出土遺物実測図

## 6 トレンチ出土遺物 (第63図)

弥生時代中・後期、古代、中世の遺物が出土している。内容は弥生時代中・後期の甕 (119～121)・壺 (122・123)・高坏 (124)・鉢 (125)・

二次加工工器 (126)・石器 (磨石・蔽石127)、古代の須恵器坏 (128)、中世の青磁碗 (129)である。弥生時代中・後期の遺物は主にIV層、古代・中世の遺物はII・III層の出土である。

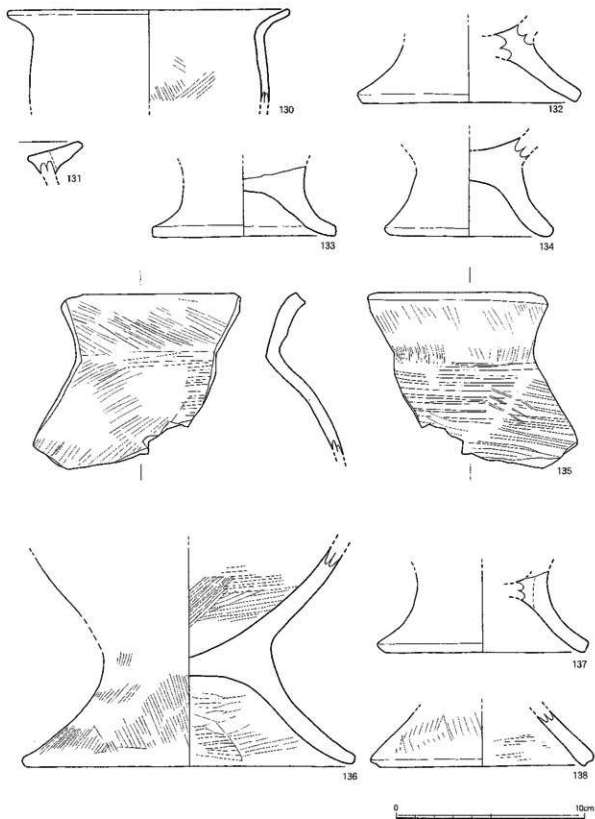


第63図 市道岱明五名線予定地6T出土遺物実測図

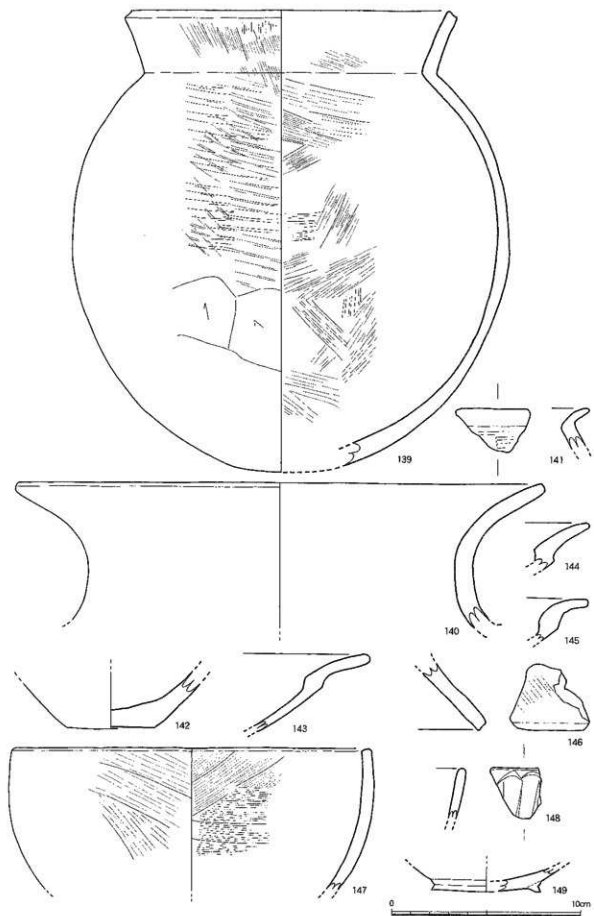
7 トレンチ出土遺物 (第64~67図)

弥生時代中・後期及び中世の遺物である。  
前者が甕 (130~139) ・壺 (140~142) ・高坏

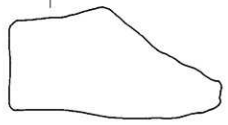
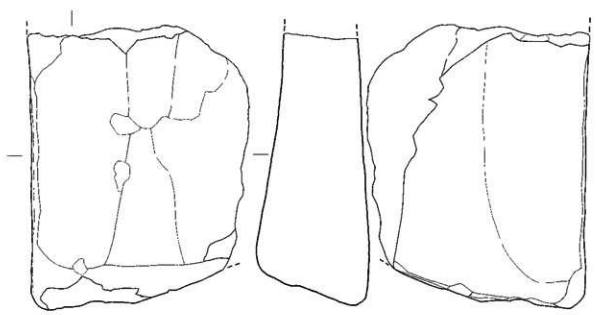
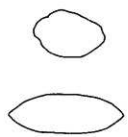
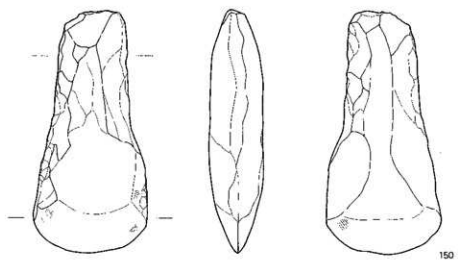
(143~146) ・鉢 (147) ・磨製石斧 (150) 砥  
石 (151・152)、後者が青磁碗 (148) ・瓦器碗  
(149) で、遺構内及びⅢ・Ⅳ層の出土である。



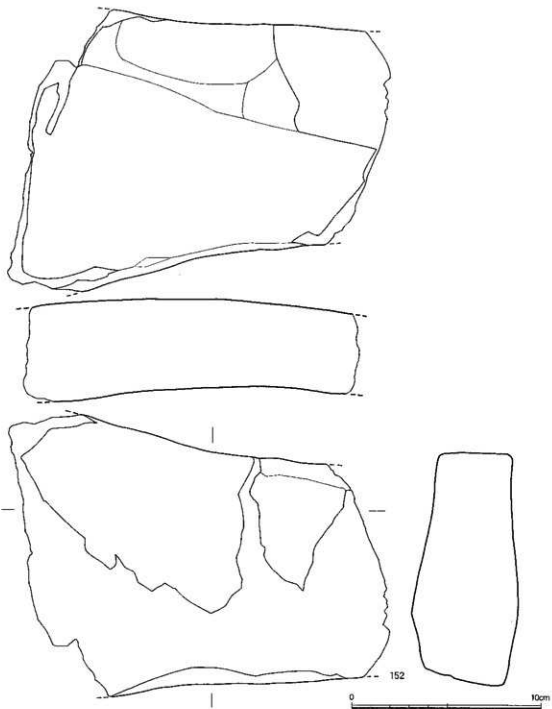
第64図 市道岱明玉名線予定地7T出土遺物実測図1



第65図 市道岱明玉名線予定地7T出土遺物実測図2



第66圖 市道岱明玉名線予定地7T出土遺物実測図3



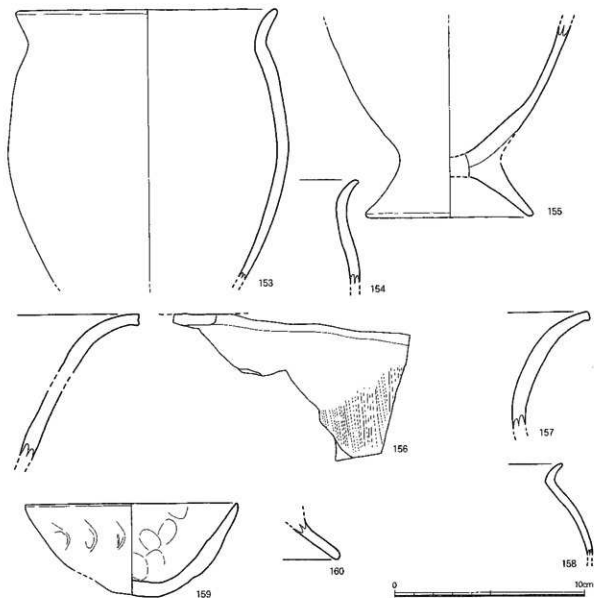
第67図 市道岱明玉名線予定地7T出土遺物実測図4

14 トレンチ出土遺物 (第68図)

すべて弥生時代中・後期の遺物と思われる。  
 内容は甕 (153~155)・壺 (156~158)・鉢 (159・  
 160) であり、すべて遺構内からの出土である。

19 トレンチ出土遺物 (第69図)

すべて弥生時代中期の甕 (161~165) で、  
 遺構及びV層からの出土である。

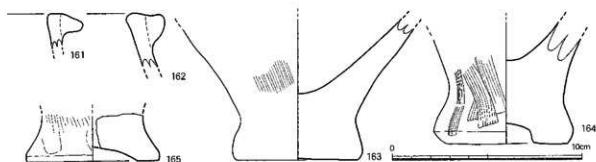


第68図 市道岱明玉名線予定地14T出土遺物実測図

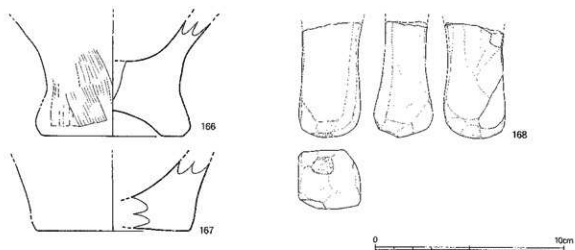
20 トレンチ出土遺物 (第70図)

弥生時代の土器 (166・167) 及び石器 (168) である。前者は弥生時代中期の甕で、Ⅲa・b

層から出土している。後者はIV層からの出土で砥石と思われる。



第69図 市道岱明玉名線予定地19T出土遺物実測図

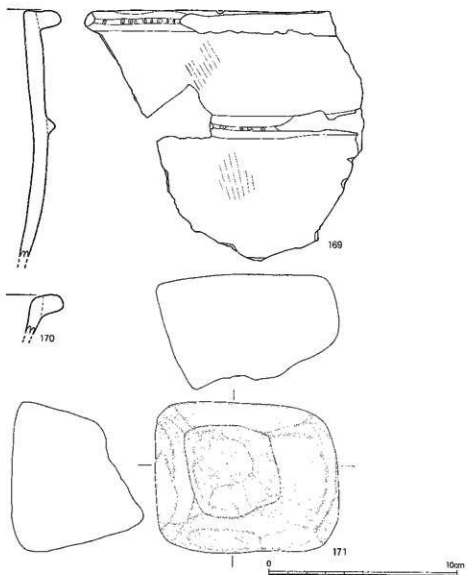


第70図 市道岱明玉名線予定地20T出土遺物実測図

21 トレンチ出土遺物 (第71図)

排土中で確認した土器及び石器である。

前者は弥生時代中期の甕 (169・170) で、後者は時期不明の台石 (171) と思われる。



第71図 市道岱明玉名線予定地21T出土遺物実測図

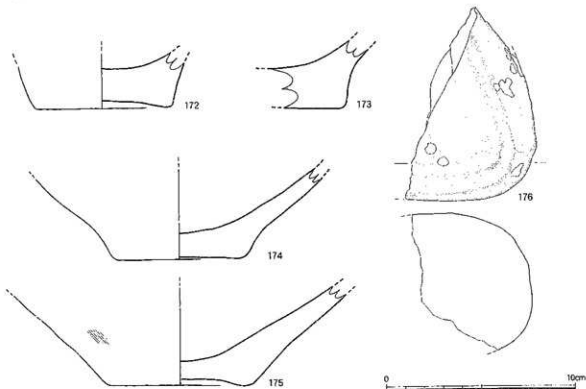


26 トレンチ出土遺物 (第72図)

弥生時代の上器及び石器と思われる。内容

は甕 (172・173)・壺 (174・175)・磨石 (176)

であり、すべてⅢ層からの出土である。



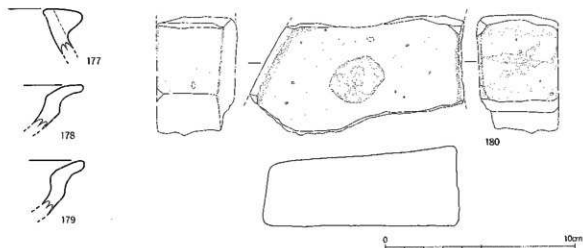
第72図 市道岱明玉名線予定地26T出土遺物実測図

30 トレンチ出土遺物 (第73図)

弥生時代の土器及び石器である。内容は甕

(177)・高坏 (178・179)・台石 (180) であ

り、すべてⅥ層からの出土である。



第73図 市道岱明玉名線予定地30T出土遺物実測図

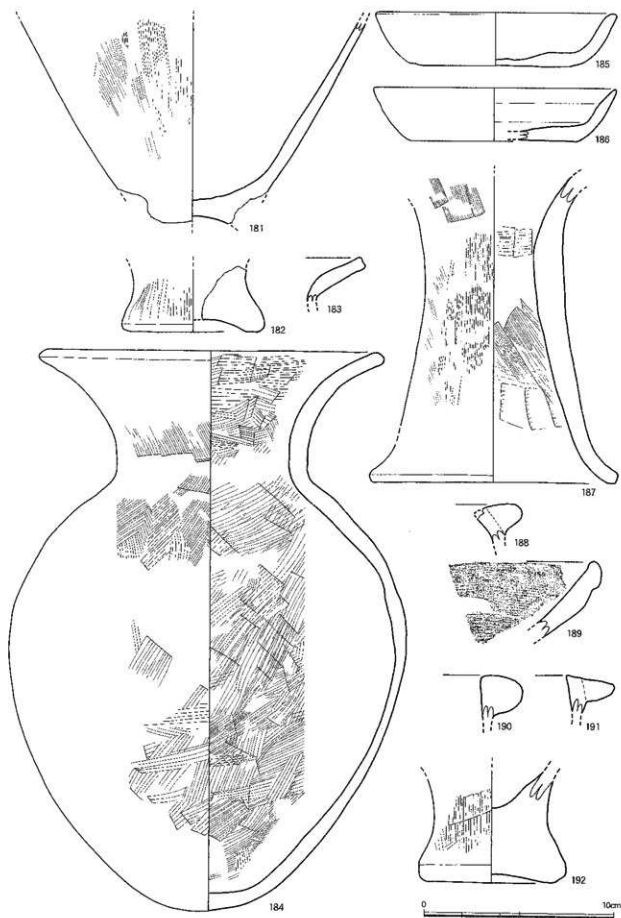
31 トレンチ出土遺物 (第74図181~186)

弥生時代中・後期の土器及び中世の土師器である。前者は甕 (181・182) 及び壺 (183・184) でⅡ~Ⅳ層、後者は坏 (185・186) でⅡ

層からの出土である。

32 トレンチ出土遺物 (第74図187)

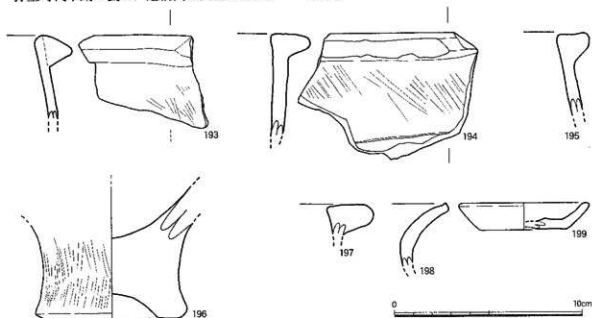
弥生時代後期の器台と思われる。Ⅲ層からの出土である。



第74図 市道岱明玉名線予定地31・32・35・36・T出土遺物実測図

- 35 トレンチ出土遺物 (第74図188・189)  
 弥生時代中期の甕 (188) 及び中世の瓦質土器 (捏鉢189) で、Ⅱ層からの出土である。
- 36 トレンチ出土遺物 (第74図190～192)  
 弥生時代中期の甕でⅡ・Ⅲ層の出土である。
- 39 トレンチ出土遺物 (第75図193～195)  
 弥生時代中期の甕で、遺構内の出土である。

- 41 トレンチ出土遺物 (第75図196)  
 弥生時代中期の甕で、遺構内の出土である。
- 42 トレンチ出土遺物 (第75図197～199)  
 弥生時代の土器及び中世期の土師器である。前者は甕 (197中期 Ⅲ層出土) 及び壺 (198 IV層出土) で、後者は皿 (199 Ⅱ層出土) である。



第75図 市道岱明玉名線予定地39・41・42T出土遺物実測図

#### (4) 調査後の措置

調査の結果、46箇所中37箇所のトレンチで埋蔵文化財が確認され、予定地の大部分で施工前に発掘調査が必要であると判断された。調査範囲が確定している箇所については平成

22年度より発掘調査を実施している。

また、道路予地内の未買収地等については、今後用地内への立ち入りが可能になった箇所から順次試掘・確認調査を実施し、早急に発掘調査範囲の確定を行う予定である。

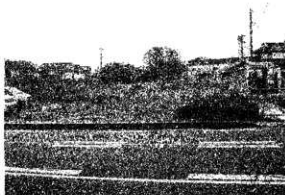


写真69 市道岱明玉名線予定地全景 (1・2T)

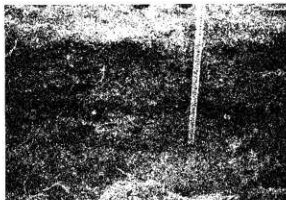


写真70 市道岱明玉名線予定地1T土層断面

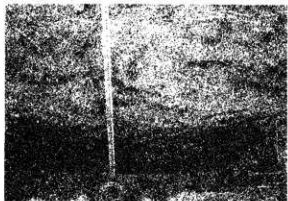


写真71 市道岱明玉名線予定地2T土層断面

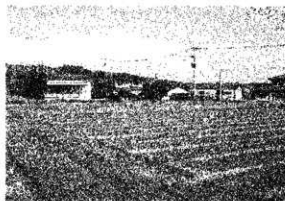


写真72 市道岱明玉名線予定地全景 (3T)

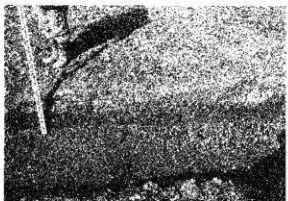


写真73 市道岱明玉名線予定地3T土層断面

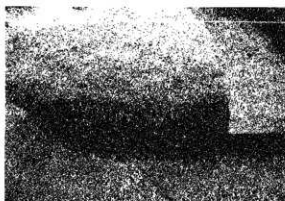


写真74 市道岱明玉名線予定地4・5T土層断面



写真75 市道岱明玉名線予定地5T遺構検出



写真76 市道岱明玉名線予定地6T土層断面



写真77 市道岱明玉名線予定地全景 (7~11T)

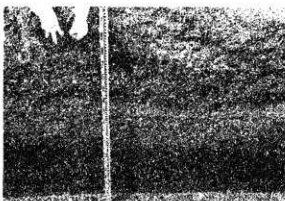


写真78 市道岱明玉名線予定地7~9T土層断面

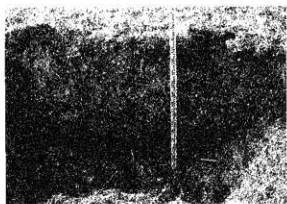


写真79 市道岱明玉名線予定地12T土層断面

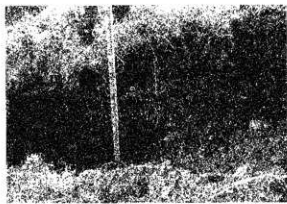


写真80 市道岱明玉名線予定地13T土層断面



写真81 市道岱明玉名線予定地全景 (14~17T)



写真82 市道岱明玉名線予定地14T土層断面

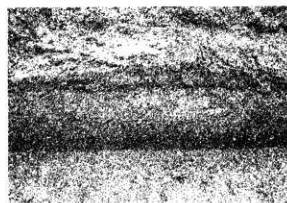


写真83 市道岱明玉名線予定地15T土層断面

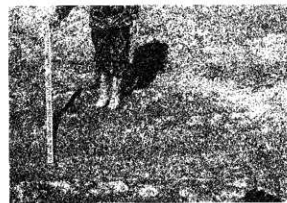


写真84 市道岱明玉名線予定地16T土層断面

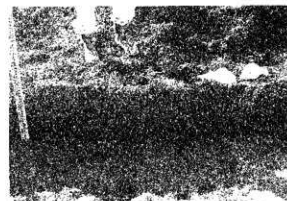


写真85 市道岱明玉名線予定地17T土層断面

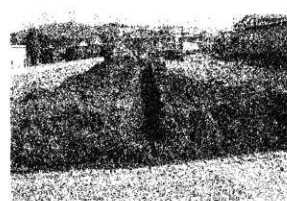


写真86 市道岱明玉名線予定地全景 (18・19T)



写真87 市道岱明玉名線予定地18T土層断面

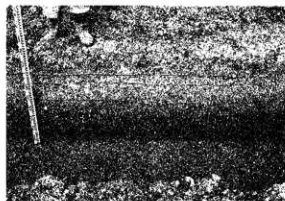


写真88 市道岱明玉名線予定地19T土層断面

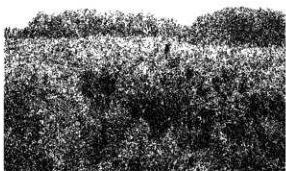


写真89 市道岱明玉名線予定地全景 (20~43T)



写真90 市道岱明玉名線予定地20T土層断面



写真91 市道岱明玉名線予定地21T土層断面

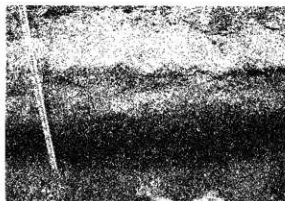


写真92 市道岱明玉名線予定地22T土層断面



写真93 市道岱明玉名線予定地23T全景



写真94 市道岱明玉名線予定地24T全景

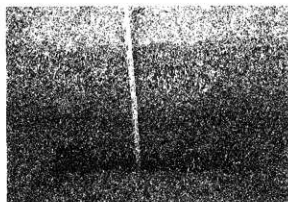


写真95 市道岱明玉名線予定地25T土層断面



写真96 市道岱明玉名線予定地26T土層断面

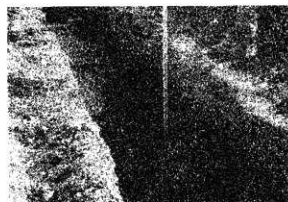


写真97 市道岱明玉名線予定地27T土層断面

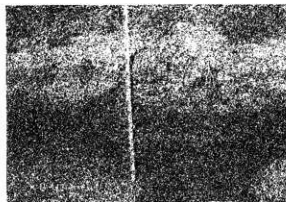


写真98 市道岱明玉名線予定地28T土層断面



写真99 市道岱明玉名線予定地29T土層断面

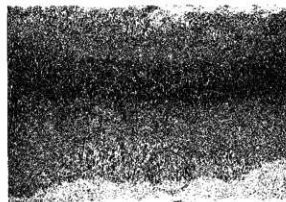


写真100 市道岱明玉名線予定地31T土層断面

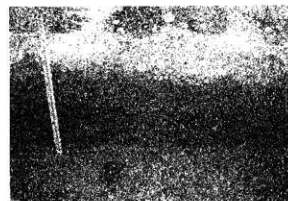


写真101 市道岱明玉名線予定地32T土層断面

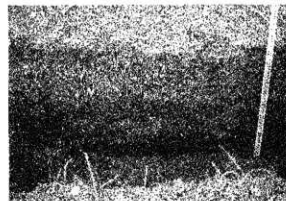


写真102 市道岱明玉名線予定地34T土層断面



写真103 市道岱明玉名線予定地35T土層断面

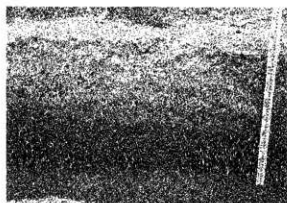


写真104 市道岱明玉名線予定地36T土層断面

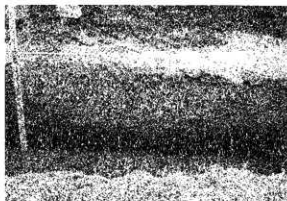


写真105 市道岱明玉名線予定地37T土層断面

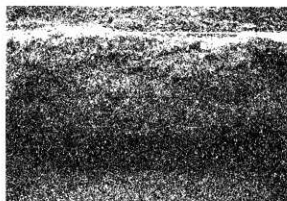


写真106 市道岱明玉名線予定地38T土層断面



写真107 市道岱明玉名線予定地39T遺構検出

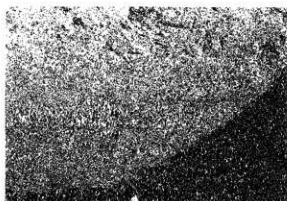


写真108 市道岱明玉名線予定地41T土層断面

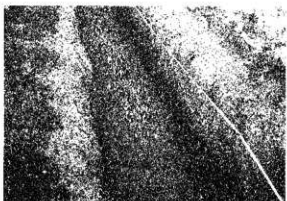


写真109 市道岱明玉名線予定地42T遺構検出

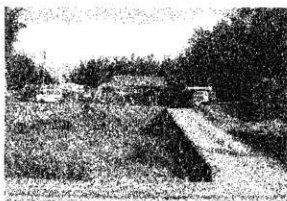


写真110 市道岱明玉名線予定地全景 (44T)





写真111 市道岱明玉名線予定地44T全景

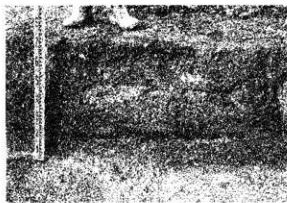


写真112 市道岱明玉名線予定地44T土層断面

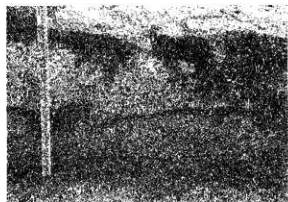


写真113 市道岱明玉名線予定地45T土層断面

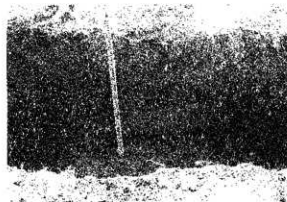


写真114 市道岱明玉名線予定地46T土層断面

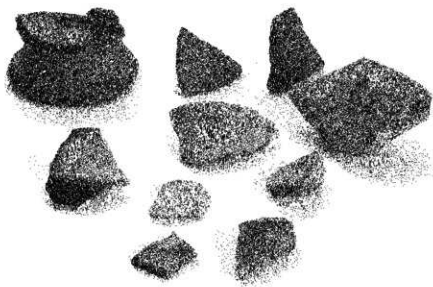


写真115 市道岱明玉名線予定地3T出土遺物

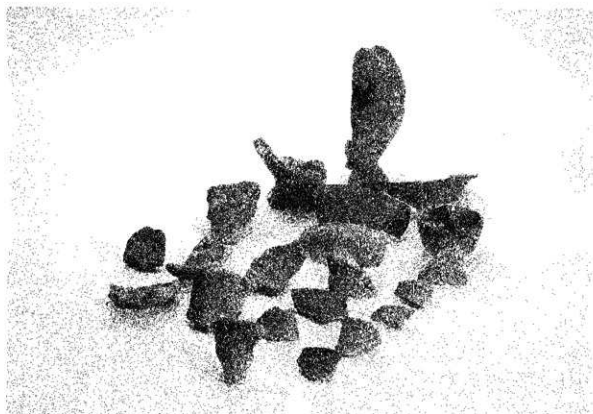


写真116 市道岱明玉名線予定地4T出土遺物



写真117 市道岱明玉名線予定地5T出土遺物

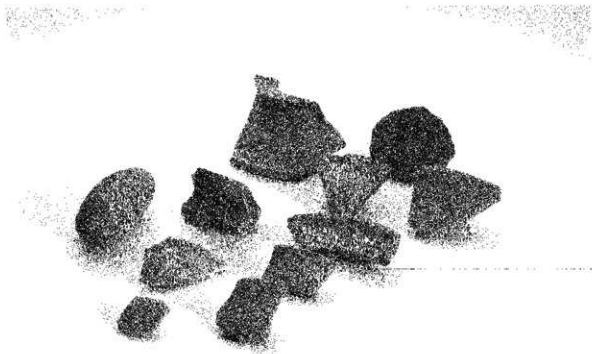


写真118 市道岱明玉名線予定地6T出土遺物

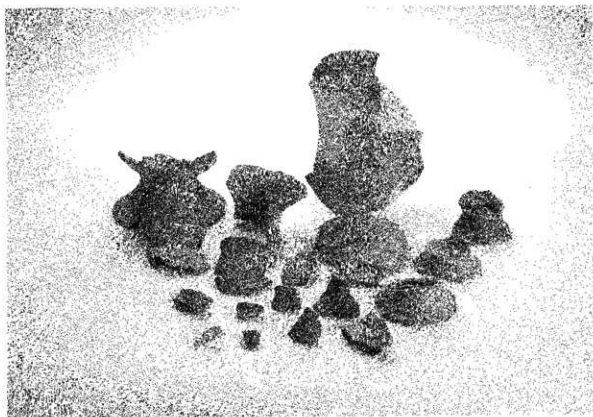


写真119 市道岱明玉名線予定地7T出土遺物1

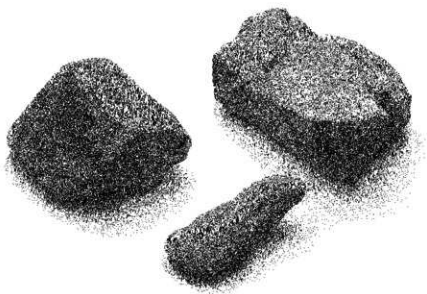


写真120 市道岱明玉名線予定地7T出土遺物2

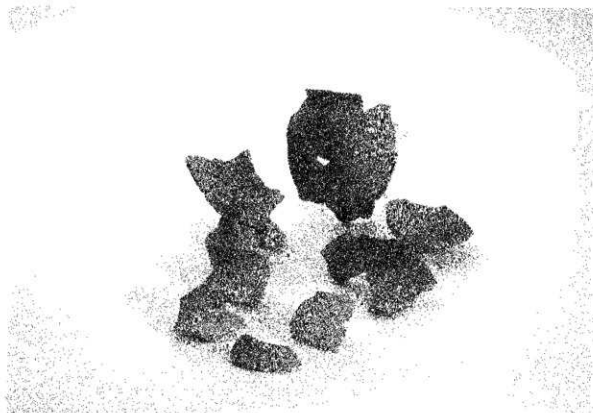


写真121 市道岱明玉名線予定地14T出土遺物



写真122 市道岱明玉名線予定地19T出土遺物

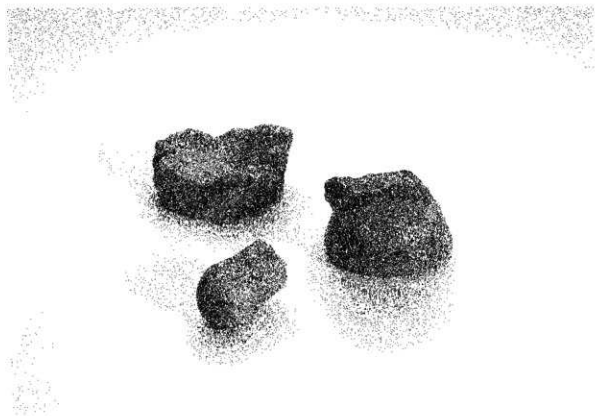


写真123 市道岱明玉名線予定地20T出土遺物

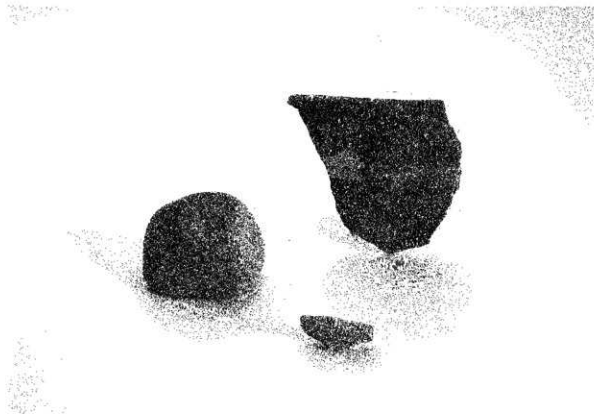


写真124 市道岱明玉名線予定地21T出土遺物



写真125 市道岱明玉名線予定地26T出土遺物

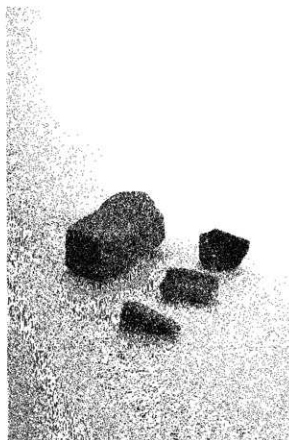


写真126 市道岱明玉名線予定地30T出土遺物

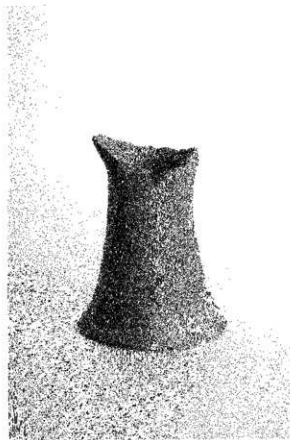


写真128 市道岱明玉名線予定地32T出土遺物



写真127 市道岱明玉名線予定地31T出土遺物



写真129 市道岱明玉名線予定地35T出土遺物



写真130 市道岱明玉名線予定地36T出土遺物

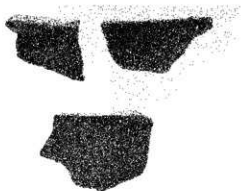


写真131 市道岱明玉名線予定地39T出土遺物



写真132 市道岱明玉名線予定地41T出土遺物



写真133 市道岱明玉名線予定地42T出土遺物



## 9 岩崎原遺跡A地点

所在地：岩崎字北岩原1317 他2筆

調査原因：学生寮建設

調査種別：確認調査

対象面積：2,990㎡

調査期間：平成21年10月14日～23日

担当者：大倉千寿

調査地は、繁根木川下流域右岸に面した台地中西部の標高17m程の地点である。近世末期高瀬藩陣屋跡の範囲にも含まれ、北西隣接地には、古代道路跡推定地も所在する。平成17年度に玉名女子高等学校グラウンド造成に伴い確認調査を実施しており、中世～近世にかけての遺物を含む大型の溝状遺構が確認されている。平成17年度の調査時は、1317番地と1319-1番地では1m程の高低差があったが、グラウンド造成時に切盛りにより平坦化された。1325番地は旧畑地であり、隣接するグラウンド面から20cm程低い。

調査では、1325番地に1トレンチを、1317・1319-1番地に2～4トレンチを設定した。1トレンチでは、I～IX層を確認した。I～IX層は現在の耕作土及び旧耕作土である。X・XI層は黒褐色を呈するが、耕作の影響により部分的にしか残存していない。ローリングを受けた土器小片（縄文早期押型土器片含む第81図200）を少量含むが時期は不明である。XII層は暗褐色を呈し、平成17年度の調査で確認した溝状遺構と時期不明のピット6基を確認した。XIII層は褐色を呈する無遺物層である。2～4トレンチでは、グラウンド造成時の盛土以下、1トレンチの旧耕作土以下と同様の堆積状況であった。遺構は所在せずローリングを受けた土器小片を少量確認した。

調査の結果埋蔵文化財が確認され、施工が影響を及ぼすと判断されたが、その頻度は狭小であるため、工事立会を行うこととなった。



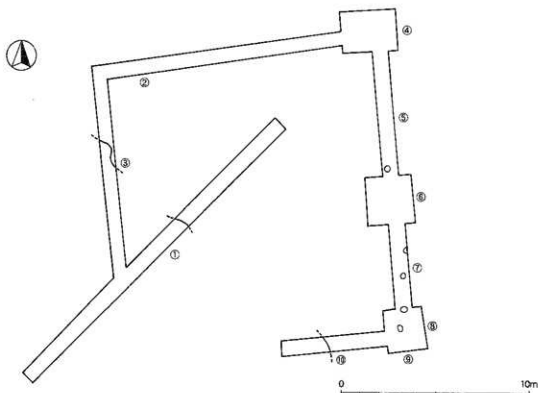
第76図 岩崎原遺跡A地点位置図 S=1/5,000



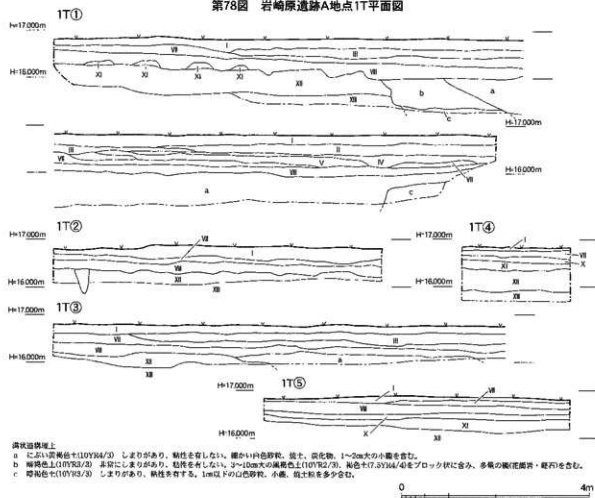
第77図 岩崎原遺跡A地点トレンチ配置図 S=1/1,000



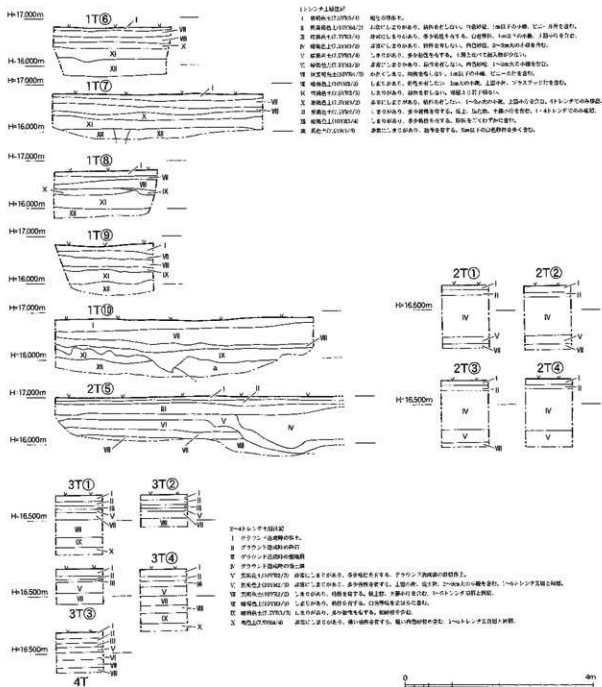
写真134 岩崎原遺跡A地点全景



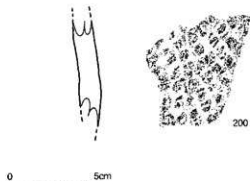
第78図 岩崎原遺跡A地点1T平面図



第79図 岩崎原遺跡A地点土層図1



第80図 岩崎原遺跡A地点土層図2



第81図 岩崎原遺跡A地点出土遺物実測図



写真135 岩崎原遺跡A地点出土遺物

## 10 築地池下遺跡

所在地：築地字池下1260-1

調査原因：国道建設

調査種別：確認調査

対象面積：726㎡

調査期間：平成21年10月22日～23日

平成21年11月20日～27日

担当者：登父雅史

調査地は、玉名市北西部の小代山南側丘陵裾部に位置する標高22m程の地点である。一帯は丘陵裾部の扇状地上に広がる水田域末端部で、調査地東側を築地川が南流している。

当該地は一般国道208号玉名バイパスの建設予定地内であることから、平成19～20年度にかけて東側隣接地の試掘調査が熊本県教育庁文化課（以下県文化課）により実施された。調査の結果、埋蔵文化財が確認されたため、当該地を含めた約1,900㎡について発掘調査が必要との判断がなされた。その後、平成20年度に玉名市教育委員会により発掘調査を実施したが、用地交渉の難航により当該地のみ調査未着手となっていた。発掘調査の結果、調査地の東側の微高地上に集落（後世の削平により弥生時代の遺構のみ残存）、西側の低地に水田の所在を確認した。当該地は水田域に隣接するが、当該地に近づくにつれ遺構・遺物とも密度が薄くなり、隣接部では遺構・遺物ともまったく所在しない状況であった。このことから、当該地については用地買収完了後に確認調査を実施し、発掘調査の必要性を再度判断することになった。

調査では、対象地に2箇所のトレンチを設定した。東側の発掘調査結果から、水田跡の所在が想定されたが、両トレンチとも明確な畦畔等は確認されず、遺物も所在しなかった。

これらの調査結果を受けて県文化課と協議を行い、発掘調査は不要との結論に至った。



第82図 築地池下遺跡位置図 S=1/5,000



第83図 築地池下遺跡トレンチ配置図 S=1/1,000

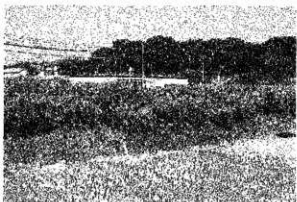


写真136 築地池下遺跡調査地全景

## 11 塚原遺跡

所在地：岱明町野口字塚原666

調査原因：福祉施設建設

調査種別：試掘調査、工事立会

対象面積：1,316㎡

調査期間

・試掘調査

平成21年10月28日

・工事立会及び調査

進入路部 平成22年1月12日～22日

擁壁部 平成22年3月23日～26日

担当者：田中康雄、古閑敬士

### (1) 試掘調査

調査地は、玉名市中西部の境川中流域右岸平野部北側に面した台地南端部に位置する。標高は14.8m程であり、調査時は耕作放棄地であった。事前審査時には周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲に含まれていなかったが、塚原遺跡に隣接し、施工時に上層部60cmの地盤改良が行われることから試掘調査を実施した。

調査では、建設予定範囲内に2箇所の特レンチを設定した。1トレンチではⅠ～Ⅴ層、2トレンチではⅠ～Ⅳ層を確認した。Ⅰ・Ⅱ層は、昭和43年の開田に伴う層と考えられ、1トレンチで80cm、2トレンチで50cm程の厚さであった。Ⅲ層は小礫・土器細片を含む層で、開田前の旧耕作土と考えられる。Ⅳ層は土器小片を含み、遺物包含層に相当すると考えられる。Ⅴ層上面が遺構検出面と考えられ1トレンチにおいてピット状の遺構5基を検出した。

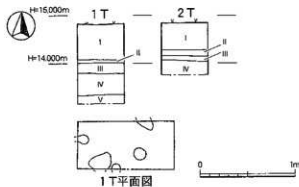
調査の結果埋蔵文化財が確認された。施工内容から建物部分に関しては埋蔵文化財に影響をあたえないと考えられたが、進入路設置に伴い一部切土が行われることから、施工時に立会を行うこととなった。



第84図 塚原遺跡位置図 S=1/5,000



写真137 塚原遺跡調査地全景



Ⅰ・2トレンチ十割付近

Ⅰ 褐色土(7.2V94/2)

Ⅱ 灰褐色土(7.2V93/2)

Ⅲ 黄褐色土(7.2V92/2)

Ⅳ 黄褐色土(7.2V91/4)

Ⅴ 褐色土(7.2V90/2)

ピット内埋土

埋土内(7.2V93/2)

しまりがなく、粘性を有しない。旧耕作土。

ややしまりがあり、粘性を有しない。

ややしまりがあり、粘性を有する。小礫・土器細片を多少含む。

あまりしまりがなく、粘性を有しない。上部小竹を含む。

あまりしまりがなく、粘性を有しない。内包砂利をわずかに含む。

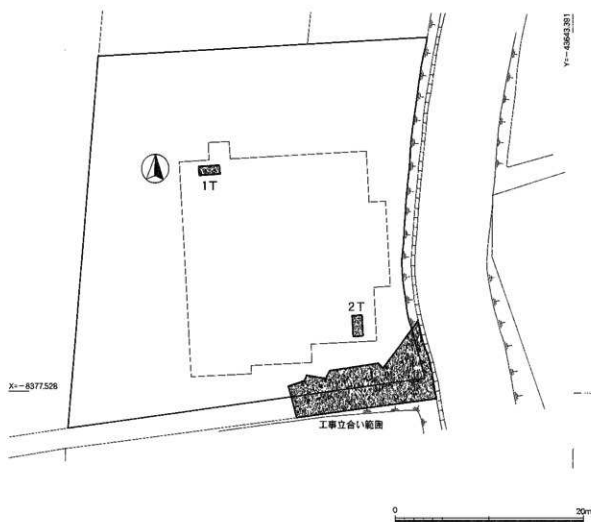
しまりがなく、粘性を有しない。細かい礫をごくわずかに含む。

第85図 塚原遺跡1・2T平面図・土層図

## (2) 工事立会及び調査

工事立会においては、施工業者の手違いで着工後に連絡があり、現場到着時には既に一部で切土が行われていた。工事を中断させて遺構検出を行ったところ、土坑状の遺構が確認され、排土中にも遺物が認められた。その場で工事関係者に施工内容を確認したところ、当初の説明と比べて大幅に切土範囲が拡大していた。その場で協議を行った結果、進入路及びそれに伴う擁壁設置部に関しては埋蔵文化財に影響をあたえる可能性があるため、当該部についてはすべて工事立会を行い、遺構

が存在する場合はそのつど調査を実施することとなった。工事立会の際は、IからIV層を重機、それ以下を人力により掘削し、遺構検出の結果、土坑6基、ピット83基を検出した。当初は、弥生時代後期の遺物包含層及び遺構が存在すると考えていたが、調査を進める中で、中期の遺物も確認され、遺構面も複数面におよぶことが判明した。しかし、VI層上面では遺構の所在が明確でなかったため、大部分はVII層上面での検出となった。また、既に掘削されていた範囲についてはVIII層での検出となった。調査詳細については以下に述べる。



第86図 塚原遺跡調査地全体図